

海外在住の日本語学習者の日本での就労に対する

意識とアクションの差異に関する調査と考察

— インド・中国・ベトナムの3カ国の日本語学習者の比較より —¹

田村一也（一般社団法人日本国際化推進協会）

ツェン シュージェー オスティン（文部科学省国費留学生協会）

要旨（日本語）

本稿は、日本語を学んでいる海外在住者の日本での就労意向や日本企業のイメージについて定量調査を行い、考察をまとめたものである。本調査の目的は、今後さらに進むであろう日本国内の労働環境における人手不足問題の解決策の1つとして検討される、外国人労働者の海外からの受け入れに関して、実際にその対象となる外国人が日本に対してどのような考えを持っているのか、傾向を明らかにし、今後の受け入れ施策を検討するにあたっての課題を抽出することにある。調査対象として、今回は「インド」「中国」「ベトナム」の3カ国に絞り、各国で日本語学習経験がある方を対象に調査を行った。アンケートは、各国の言語に翻訳し、SurveyMonkey を利用してオンライン上で実施した。その結果、インド:100名、中国:104名、ベトナム:103名より有効回答を得た。

そして調査結果から、各国平均で、日本で「生活」することに対する意向は約85%がポジティブな回答をしたことがわかった。また、日本で「働く」ことに対する意向は、同じく約85%がポジティブな回答をした。この結果は、2015年に一般社団法人日本国際化推進協会(JAPI)が日本国内に住む外国人を対象に行った調査結果と異なる傾向を示した。同調査の類似質問の結果は、日本の生活に対してポジティブに感じている外国人が約85%に対して、日本で働くことに対してポジティブに感じている外国人は約20%しかいなかった。また、海外在住者が日本で就労するために活用する手段は、総じて「Web 求人メディアの募集に応募する」または「母国にある日本企業に連絡する」方が多いことがわかった。しかしながら、実際に日本企業に応募したことがある日本語学習者は、全体平均で20%弱しかいなかった。さらに、彼ら日本語学習者が希望する業界は、「教育」と「観光」が相対的に多く、全体平均で45%前後の日本語学習者が選択していた。その一方で、日本全国で人手不足が懸念される「介護」業界を選択した日本語学習者は、全体平均で10%も満たない比率であった。

さらに、「インド」「中国」「ベトナム」の3カ国の回答結果を相対比較することで、各国の日本に対するイメージが異なることがわかった。イメージに差異が生じる要因として、本調査では2つの要素があると考えた。1つ目は経済的なギャップ、2つ目は日本との関係性に関する量と密度である。前者に関して、各国

¹ 本稿は、独立行政法人経済産業研究所 (RIETI) におけるプロジェクト「人手不足社会における外国人雇用と技術革新に関する課題の実証研究」の成果の一部である。本調査は、JAPI と RIETI の連携研究「海外在住日本語学習者の日本就職意向と採用する日本企業の課題意識に関する現状と取り組み」に基づき JAPI が行ったものである。

の経済発展状況によって日本で就労することに対する魅力ポイントは異なることが考えられる。後者に関して、より多くの在日外国人が長くいる、言い換えると各国の日本国内コミュニティーの程度によって、各国の現地日本語学習者が得られる情報量に差が生じ、日本での就労意向や興味関心が変わるのではないかと考えた。

本調査結果及び考察は、各国の回答者属性、年齢や日本語力に違いがある点で、比較をする際には留意が必要であり、今回対象とした3カ国以外含め、今後更なる調査が必要である。そして、海外から日本語学習者を受け入れるにあたっては、各国の異なる経済水準、日本国内の各国コミュニティーの成熟度の違いによって、それぞれの国の現地にいる日本語学習者の日本に対する情報量や印象に差が生じることを考慮した上で、各国の日本語学習者に対して、日本での就労機会の提供や情報発信を行っていくことが重要になることがわかった。

目次

1	はじめに	5
2	調査の基本説明	6
3	調査対象	6
4	拡散・方法	6
5	回答者の属性	7
5-1	性別	7
5-2	年齢	8
5-3	就労ステータス	10
5-4	最終学歴（あるいは現在籍課程）	10
5-5	日本滞在の経験	12
5-6	日本語学習期間	13
5-7	日本語レベル	14
5-8	番外：国籍別、日本語学習速度	14
6	本分析	16
6-1	日本在住、日本で働くことに対する意欲	16
6-2	日本で働くことについて、魅力だと思ったところ	18
6-3	日本で働きたくない理由	19
6-4	日本企業に対する印象	21
6-5	他の要素との相関	23
6-6	就職する上での困難	23
6-7	親が許可を得る可能性	24
6-8	日本就職で検討している方法	25
6-9	日本就職に関連する経験	26
6-10	希望業界	28
6-11	希望職種	30
6-12	職場選びの基準	32
6-13	日本の、他の選択肢の中に比べての優位性に関して	35
6-14	コロナ禍による影響	36
7	全体の考察	37
7-1	中国	38
7-2	ベトナム	39
7-3	インド	39
8	全体で考えうる傾向性	40
9	終わりに	41
10	付録1：質問表	42

11	付録2：日本企業の印象についての回帰分析	58
----	----------------------	----

図一覧

1	国籍別男女比	8
2	国籍別就労ステータス	10
3	国籍別、最終学歴（学生の場合は現役在籍課程）	11
4	ベトナム限定、最終学歴および現在の就労ステータス	11
5	国籍別、最終学歴（学生の場合は現在在籍課程）における分野	12
6	国籍別、過去の日本における合計滞在期間	12
7	国籍別、日本語学習期間	13
8	国籍別、日本語能力	14
9	国籍別、日本で「生活」することに対する意向	16
10	国籍別、日本で「働く」することに対する意識	16
11	日本企業に対するイメージ	21
12	国籍別、親の許可についての回答	24
13	国別、日本就職をやろうとしたら検討している方法	26
14	国籍別、日本就職関連経験	27
15	国籍別、興味がある業界（複数選択可）	29
16	「その他」を除いた勉強分野ごと、希望業種の回答率	29
17	国籍別、興味がある職種（複数選択可）	31
18	「その他」を除いた勉強分野ごと、希望職種の回答率	31
19	国籍別、日本以外の海外で働くことを検討しているか？	35
20	コロナ禍を通じて、日本で働こうと思った気持ちの変化	36

表一覧

1A	国籍別回答者年齢	8
2B	国籍別回答者年齢	10
2	国籍別、滞在期間に関する数値	13
3	国籍別、日本語学習期間に関する数値	13
4	説明変数（国籍・学習年数）と目的変数（日本語能力）との回帰分析	15
5	回答者の、日本で生活することについての意識と日本で働くことについての意識	17
6	国籍別、日本で働くことについての魅力点ごと回答率。（複数選択可、数の制限なし）	18
7	日本で働くことについて最重要理由、選択肢ごと回答率（括弧の中の数値は「その他」、「該当しない」を除く各国籍における回答率の順位）	19
8	日本で働きたくないと思った理由、選択肢ごとの回答率。（複数選択可、選択数の制限なし）	20
9	日本で働きたくないと思った理由ことについて最重要理由、選択肢ごと回答率	20

10	日本企業に対する印象について、それぞれの国と平均に 5%以上の差が見られている箇所	22
11	日本で就職することの困難	23
12	日本就職についての経験有無による、日本就職に感じる困難	28
13	国籍別、それぞれの業種についての解答率が平均と 10%以上乖離があった項目	30
14	希望職種における、平均から 10%以上の乖離があった選択肢	32
15	日本で働く場合に重視する要素、選択肢ごとの回答率。(複数選択可、数の制限なし)	32
16	日本で働く場合に最も重視する要素、選択肢ごと回答率)	33
17	検討している他国(10 回答以上のもののみ表示)	35
18	各国の統計・日本との比較	37
19	表 18 に基づいて比較した際の各国特徴	38

1. はじめに

2019 年 4 月より、日本では「特定技能」の在留資格が創設され、新たなビザでの外国人材の受け入れが始まった。本ビザでの外国人材受け入れが始まった背景の一つとして、日本における少子高齢化及び労働人口の減少の問題が挙げられる。少子高齢化は、少ない若年層で多数の高齢層を支える人口構造を加速させる。内閣府の資料²⁾によると、2000 年時点で 65 歳以上の人口を 15～64 歳人口で支える割合は 3.9 人だったのに対して、2019 年時点で 2.1 人まで減少している。これは、より少ない現役世代で高齢者を支えることを意味している。さらに、現状のままでは、2065 年には 1.3 人まで減少する可能性がある³⁾と指摘している。そして、労働人口の減少は、既存の様々な産業で廃業を加速させる恐れがある。厚生労働省が令和元年に公表した「労働経済の分析³⁾」によると、人手不足が要因で倒産した企業は、2013 年 272 件に対して、2018 年 387 件まで増加している。このような人口問題を解消する糸口として、海外からの外国人材受け入れがある。また、多様な人材が活躍する社会において、高度外国人材の受け入れによるイノベーション創出も期待される⁴⁾。日本経済の今後の発展は、人口問題に対処しながら、多様な人材が活躍できる環境を整えることでイノベーションを起こし、生産性を高めることが必要になるだろうことは、政府戦略にも類似のことが記されている。

そのような状況において、実際に外国人材は海外から日本に来てくれるのだろうか？現在、日本人の多くは日本語しか話すことができない。そのため、一部の企業を除いて、実際に日本企業で働くためには、しばらくの間は「日本語が話せる」という条件が必要不可欠になるであろう。現在、日本国内だけではなく、世界各国で国際交流基金が運営する日本語能力試験は実施されている。コロナ禍では試験開催が見送られる事態が生じていたが、2019 年には海外在住者だけで約 90 万人が日本語能力を測る試験に応募している⁵⁾。2022 年 11 月 24 日に独立行政法人国際交流基金から公表された「2021 年度海外日本語教育期間調査 結果概要⁶⁾」によると、日本語学習をしている人は、世界各国で約 380 万人いる。趣味で独学で学んでいる人も含めた

²⁾ https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2020/html/zenbun/s1_1_1.html

³⁾ <https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/roudou/19/backdata/1-1-11.html>

⁴⁾ <https://www.meti.go.jp/report/tsuhaku2016/2016honbun/i2120000.html>

⁵⁾ <https://www.jlpt.jp/statistics/archive.html>

⁶⁾ chrome-extension://efaidnbmnnpbpcajpcgclefindmkaj/https://www.jpj.go.jp/j/about/press/2022/d1/2022-023-02_1228.pdf

ら、その数はもっと多くなるだろう。では、そのような日本語学習者たちは、日本で就労したいとどれほど考えているのだろうか。そして、日本に対して、日本企業に対して、どのようなイメージを持っているのだろうか。さらには、実際に日本企業で就業するためのアクションを取っているのだろうか。

今後、海外から日本語学習者の受け入れを増やしていくために、世界の日本語学習者が、もし日本及び日本企業に対してネガティブなイメージを持っているようなことがあれば、それを改善していく必要がある。そして、日本で働きたいと思ってくれているとしても、日本企業で働くための機会にアクセスできていなかったとしたら、アクセスできる方法をつくっていく必要がある。世界各国の状況を把握することは困難であるが、今回はインド、中国、ベトナムの3カ国に絞って、前述の状況について調査をしたい。

本レポートでは、調査活動で確認したアンケート結果について、各国ごとに結果をグラフや表にまとめている。そして、3カ国の回答結果に生じる差異に比較し、なぜ違いが生じているのか考察にまとめた。今回の調査レポートを通して、日本が今後海外から日本語学習者を労働者として受け入れる際に必要な課題及び施策を検討する情報になれば幸いである。

2. 調査の基本説明

本調査は、海外在住の日本語学習者の日本での就職意向並びに就職するにあたって、どのような方法で日本企業へ就職しようとしているのか、さらには日本就職をする際の懸念材料などについて明らかにし、今後海外から高度外国人材を日本に呼び込むための課題を把握するために行うものとする。

なお、今回の調査において対象国をインド、中国、ベトナムの3カ国に限定した。その理由について、インドはIT人材として注目される国であり、日本としても不足するIT人材をいかに海外から補うかを検討する上で重要な国となりうるためである。中国に関しては、日本に在留する外国人の割合として最大の国であり、今後も海外からの労働力供給元として期待されるためである。ベトナムに関しては、近年日本で働く外国人労働力として増加率が非常に高く、今後もこの傾向が続く可能性があるのか、注目すべき国の一つと考え、調査対象国に含めることとした。

3. 調査対象

本調査の対象者は、以下の全ての条件を満たす必要があるとした。

1. インド、中国そしてベトナムのいずれかの国籍を持つこと
2. 日本語を学習している、あるいは学習経験を持つこと
3. 調査アンケート回答時点で日本在住ではないこと

4. 拡散・方法

本調査は、オンラインのアンケートプラットフォームである SurveyMonkey で実施した。

アンケートは、調査対象国の言語に翻訳して作成した。翻訳にあたっては、対象国出身の留学生及び元留学生にも確認していただきながら、可能な限り翻訳することで日本語の意味と違いが生じないよう留意した。

調査期間は、2021年12月21日から2022年5月2日までの約半年間である。

回答者集めに関して、本調査チームの国内外にあるネットワークを活かし、上記の調査対象者に対する拡散をおこなった。拡散の結果、インドからは100名、中国からは104名、そしてベトナムからは103名、合計307人の有効回答を得られた。

アンケートの拡散にあたり、協力パートナーなしに前述の回答人数を集まれなかったため、拡散にあたってご協力いただいたパートナーに感謝を申し上げたい。協力先を下に羅列する。(各人の所属先は2022年5月2日時点のものである。)

インド

- ・Manasi Shirgurkar 氏 (政策研究大学院大学 卒業生)

中国

- ・韓 雨暘 氏 (東洋大学 留学生)
- ・安 星 氏 (Enjin 株式会社/上智大学 卒業生)
- ・日本中国友好協会
- ・李 佳騏 氏 (株式会社 QiLian/関西学院大学 卒業生)

ベトナム

- ・Tran Thi Thu Thuy 氏 (Foreign Trade University/一橋大学 卒業生)
- ・Pho Nguyen Thi Hoang 氏 (東洋大学 留学生)
- ・ベトナム元日本留学生協会 (VAJA)

5. 回答者の属性

アンケート結果の分析及び考察に先立ち、回答者属性について確認をしたい。目的としては、国籍ごとの意識の相違を見つけ出すことである。ただし、それぞれの国において、国籍以外の属性においても回答者の属性に多少の差があったため、下記に国籍別、および全体の属性情報を表す。また、分析においても、国籍間の差異は国籍以外の属性に起因する可能性に留意しつつ、分析を進める。

5-1. 性別

図1で表すように、どの国籍においても、男性が過半数を占めた。特にベトナムの場合、男性が4分の3近くまで上った。

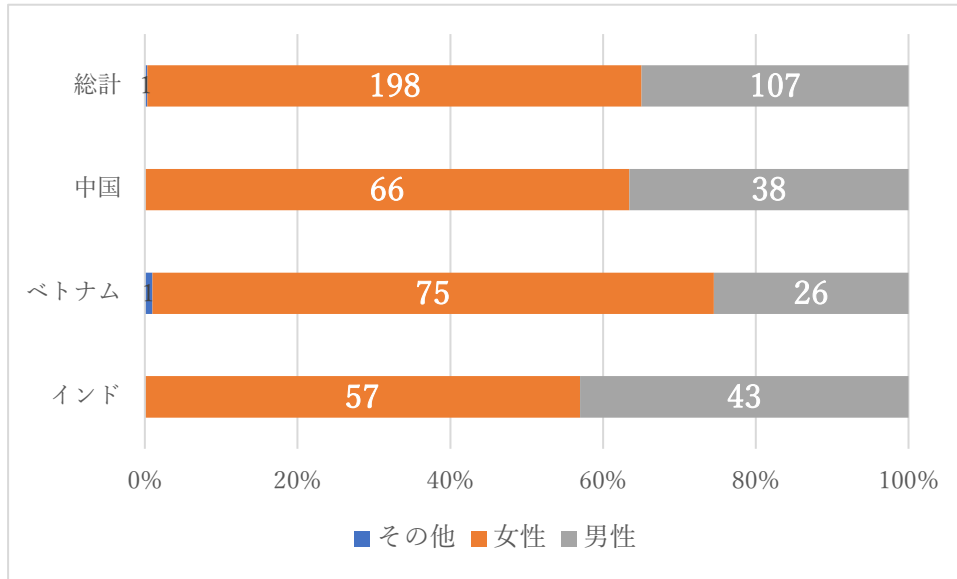


図 1：国籍別男女比

本結果に関して、そもそも日本国外における日本語学習者において男性が女性より多いからかは不明である。しかし、国外の日本語学習者の一定割合が日本に来るという前提で考えると、国外の日本語学習者の男女比が日本内の外国人の男女比に影響するはずだ。

政府の統計データポータル「E-stat」⁷の2021年6月付によると、日本語を勉強して直近数年で来日した可能性が高い18歳から30歳のそれぞれの国籍の男女人数を見ると、中国国籍では、男性120,969人(53.3%)に対して女性は105,910人(46.7%)、ベトナムは男性195,875人(55.9%)に対して女性は154,282人(44.1%)、インドは男性5,876人(66.2%)に対して女性は3,001人(33.8%)である。つまり、どちらの国籍においても男性が過半数を占め、間接的でありながら、国外の日本語学習者にも男性が過半数を占め、本調査の傾向もそれを反映していると示唆できる。

5-2. 年齢

次に回答者の年齢層を表す。

表 3A：国籍別回答者年齢

行ラベル	インド	ベトナム	中国	総計
18歳以下	3	2	1	6
19	7	9	5	21
20	6	10	6	22

⁷ <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&query=%E7%AC%AC%EF%BC%92%E8%A1%A8%E3%81%AE%EF%BC%92%E3%80%80%E5%9B%BD%E7%B1%8D%E3%83%BB%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E5%88%A5%E3%80%80%E5%B9%B4%E9%BD%A2%E3%83%BB%E7%94%B7%E5%A5%B3%E5%88%A5%E3%80%80%E7%B7%8F%E5%9C%A8%E7%95%99%E5%A4%96%E5%9B%BD%E4%BA%BA%09%09&layout=dataset&metadata=1&data=1>

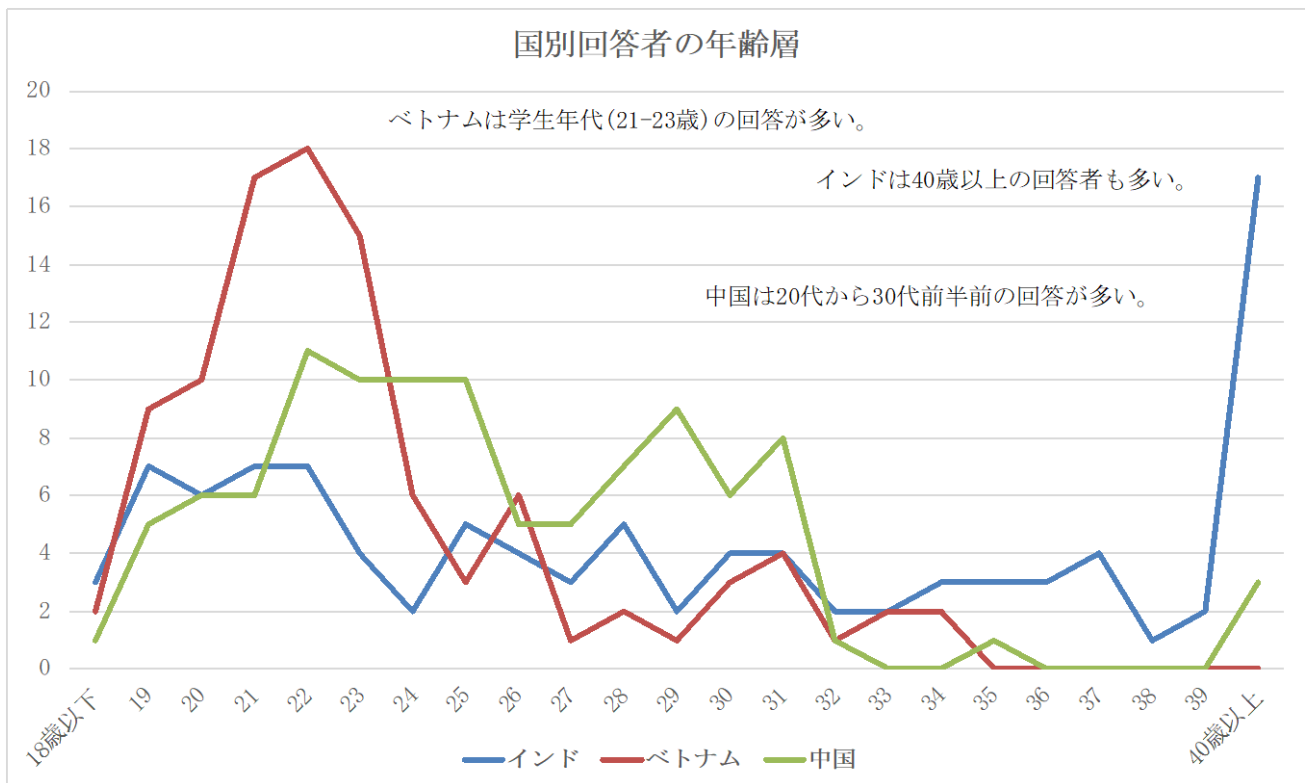
21	7	17	6	30
22	7	18	11	36
23	4	15	10	29
24	2	6	10	18
25	5	3	10	18
26	4	6	5	15
27	3	1	5	9
28	5	2	7	14
29	2	1	9	12
30	4	3	6	13
31	4	4	8	16
32	2	1	1	4
33	2	2		4
34	3	2		5
35	3		1	4
36	3			3
37	4			4
38	1			1
39	2			2
40 歳以上	17		3	20
平均⁸	29.7	23.3	25.7	26.2
個数	100	102	104	306

表 1A で、各国籍での回答者の年齢、そして国籍別の平均年齢も算出した。そして結果によると、中国とベトナムの回答者の年齢の間に大差が見られない一方、インドの回答者には、35 歳以上の回答者が 4 分の 1 以上を占め、他の国籍との年齢差が見られた。

回答者の年齢層が異なるため、アンケートで同じ設問であっても回答者のバックグラウンドが異なることに留意する必要がある。

⁸ 「18 歳以下」を 18 歳として、そして「40 歳以上」を 45 歳として計算し平均算出。

表 4B：国籍別回答者年齢



5-3. 就労ステータス

図2にて、各国籍の回答者の就労ステータスを表す。中国とインドでは、社会人が未就業者（学生）より多かったが、ベトナムでは未就業者が多かった。

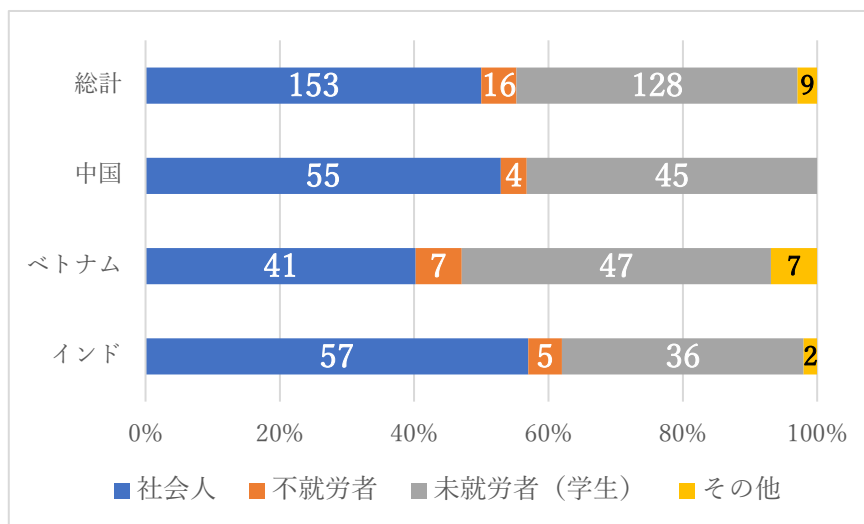


図2：国籍別就労ステータス

5-4. 最終学歴（あるいは現在籍課程）

図3にて、各国の回答者の最終学歴を表す。なお、回答者が学生の場合、現在の在籍課程を表す。

図3でわかるように、中国およびインドの回答者の大多数は学部卒以上であり、回答者の3割近くが大学院まで進学している。一方で、ベトナムは学部以上卒（あるいは在籍）がまだ過半数を占めるものの、大学院まで進学した回答者が非常に少なく、逆に最終学歴が高校だという回答者が4割近くあった。

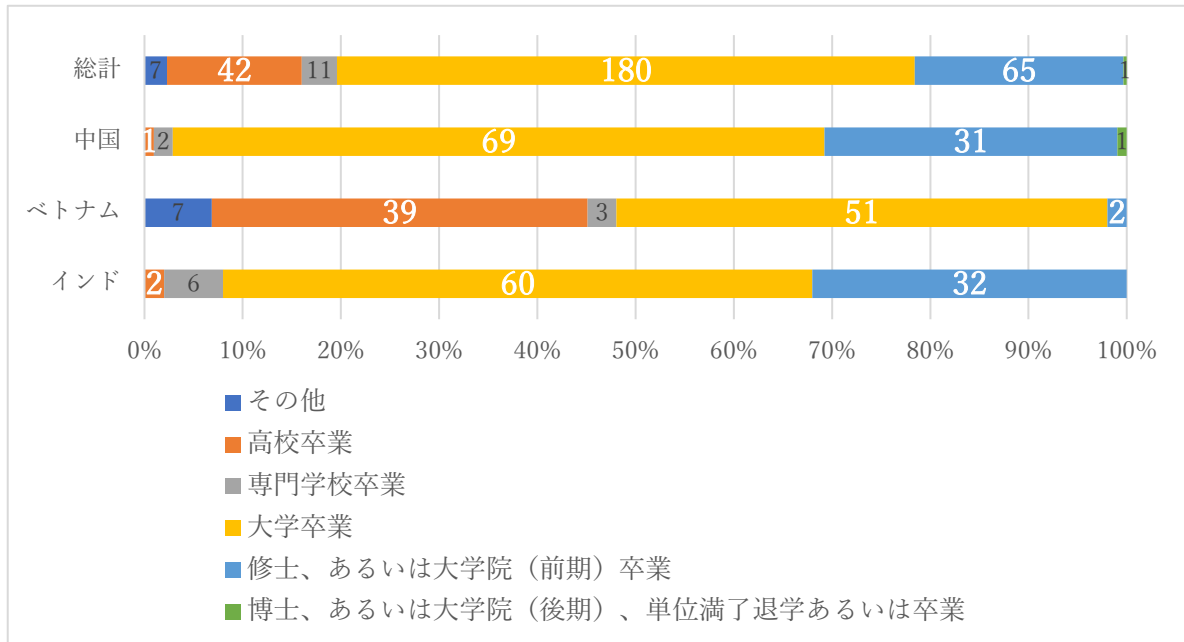


図3：国籍別、最終学歴（学生の場合は現役在籍課程）

回答者をさらに理解するために、ベトナムからの回答者の現在の就労ステータスと最終学歴（あるいは在籍課程）のクロスを下記の図4に表す。

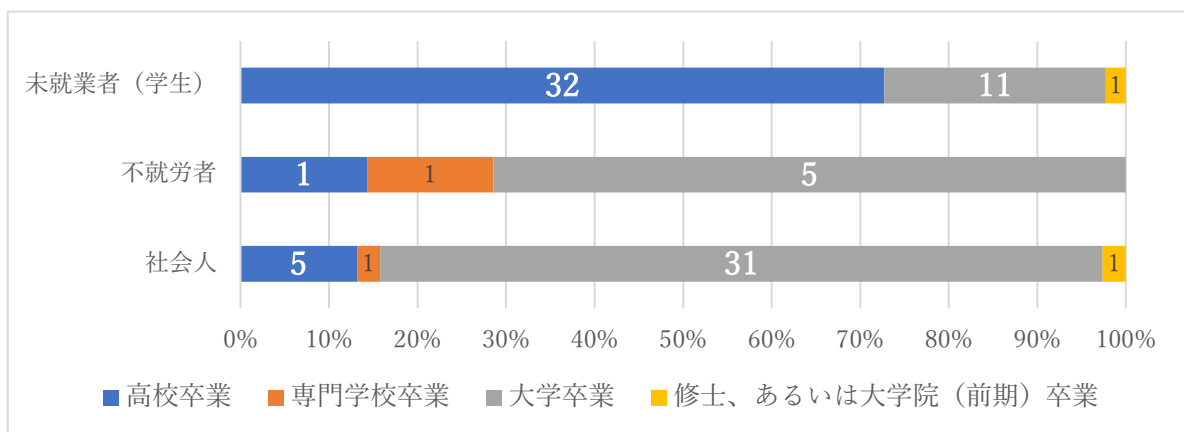


図4：ベトナム限定、最終学歴および現在の就労ステータス

見ての通り、不就労者・社会人においてベトナムからの回答者は明確に大学卒が多い。他の国籍に比べて大学院の比率が非常に低いことが特徴的ではあるが、それより気になるのは現役学生の中の「高校卒業」という回答である。前述の表1Aで表されるベトナムにおける年齢別回答者数を見ると、高校に在籍している可能性がありうる18歳の回答者は少ない。言い換えると「高校在籍中」とは考えにくい。つまり、解釈として

は、高校卒業後、日本語学校などといった、専門学校でも大学でもない教育機関に在籍しているからこそ、上記のような回答結果になったのではないかと推察する。

また、学歴の種類のみではなく、回答者の勉強分野も質問した。回答者の選択に加え、「その他」で回答した回答者をなるべくラベリングした上で、国籍別の結果を下の図4に表す。

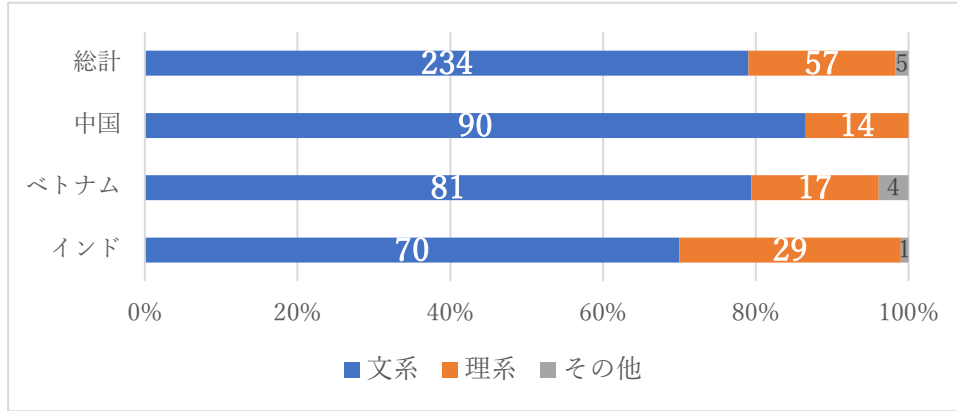


図5：国籍別、最終学歴（学生の場合は現在在籍課程）における分野

見ての通り、どの国籍も文系が大半を占めている。その中で、文系は85%超え、理系の比率が一番多いインドにおいてもその数値は3割前後にとどまった。

5-5. 日本滞在の経験

図6、そして表2にて、各国の回答者の日本滞在経験を表す。

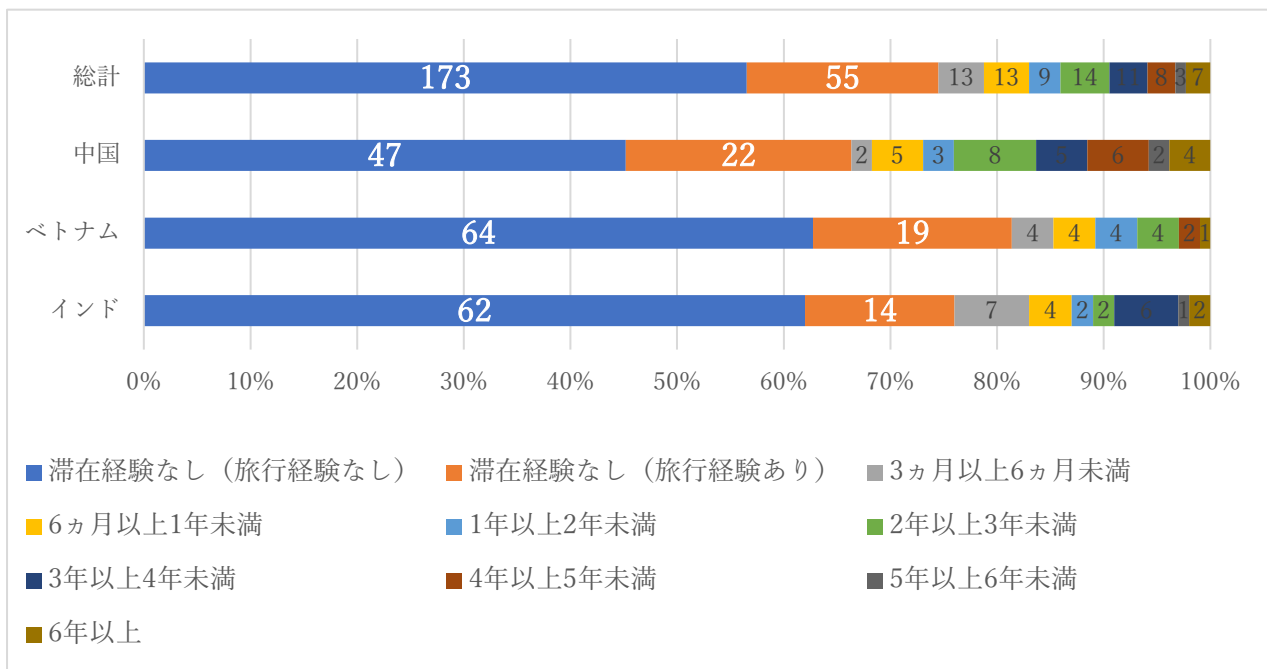


図6：国籍別、過去の日本における合計滞在期間

表 5 : 国籍別、滞在期間に関する数値

	インド	ベトナム	中国	総計
平均(年) ⁹	0.56	0.37	1.12	0.69
日本滞在経験率(%)	24%	19%	34%	25%
一年以上滞在有無(%)	13%	11%	27%	17%

上記のデータのように、どの国籍の回答者においても日本で滞在したことがある回答者は少数である。一方で、中国からの回答者は、旅行経験比率、滞在経験所有率および滞在中の滞在期間においては他の2カ国より高い数値を表す。

しかし、今回の調査結果は、総じて「実際に日本に暮らしたことがない人」の意見だと言える。また、本分析の方で滞在経験がある人とそうではない人の差に注意する。

5-6. 日本語学習期間

次に、各国の回答者の日本語の学習期間を、図7と表3にて表す。

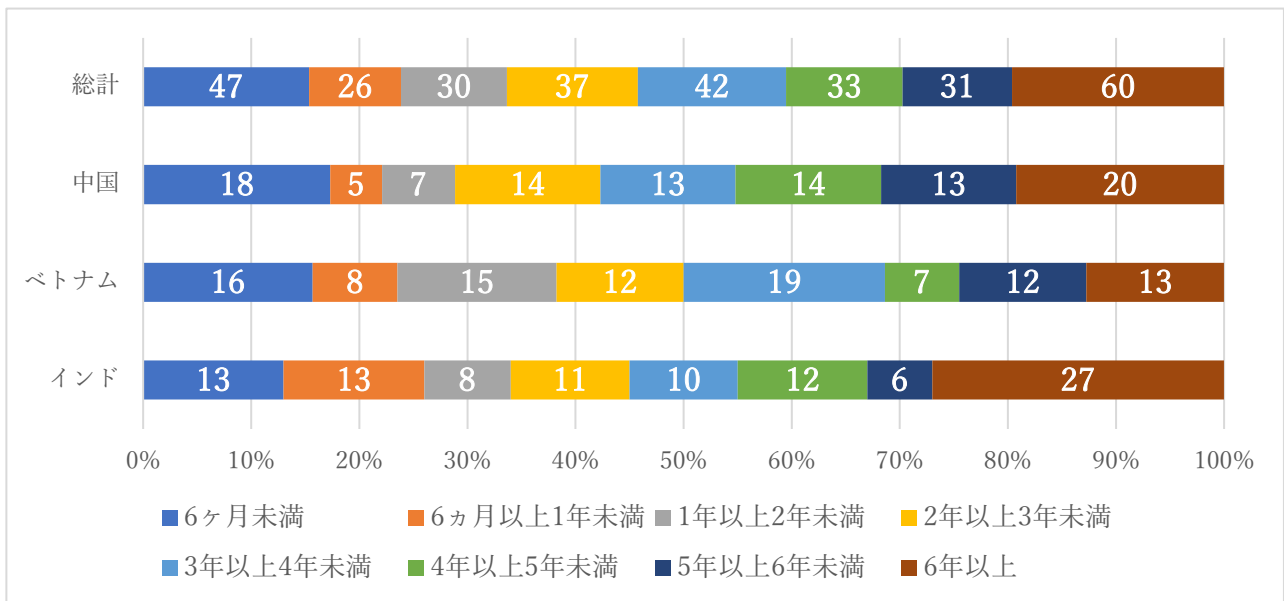


図 7 : 国籍別、日本語学習期間

表 6 : 国籍別、日本語学習期間に関する数値

集計用	インド	ベトナム	中国	総計
平均(年) ¹⁰	3.91	3.24	3.79	3.64
1年以上勉強有無(%)	74%	76%	78%	76%

⁹ 旅行経験関係によらず、「滞在経験なし」を「0」に、「6年以上」を「8」に、そしてその他の回答を当該回答の中央値となる年数(例:「1年以上2年未満」を「1.5」に)に換算し計算。

¹⁰ 「6年以上」を「8」に、そしてその他の回答を当該回答の中央値となる年数(例:「1年以上2年未満」を「1.5」に)に換算し計算。

図7と表3からわかるように、各国の間に学習期間についての多少の差はあるものの、総じていうと分布に大きい差は見られなかった。どの国籍も、1年以上の学習期間を経験している割合は4分の3強であり、また中央値・平均値は3年から4年未満の間となった。

5-7. 日本語レベル

属性としては最後のデータである、回答者の日本語レベルについて図8に表す。

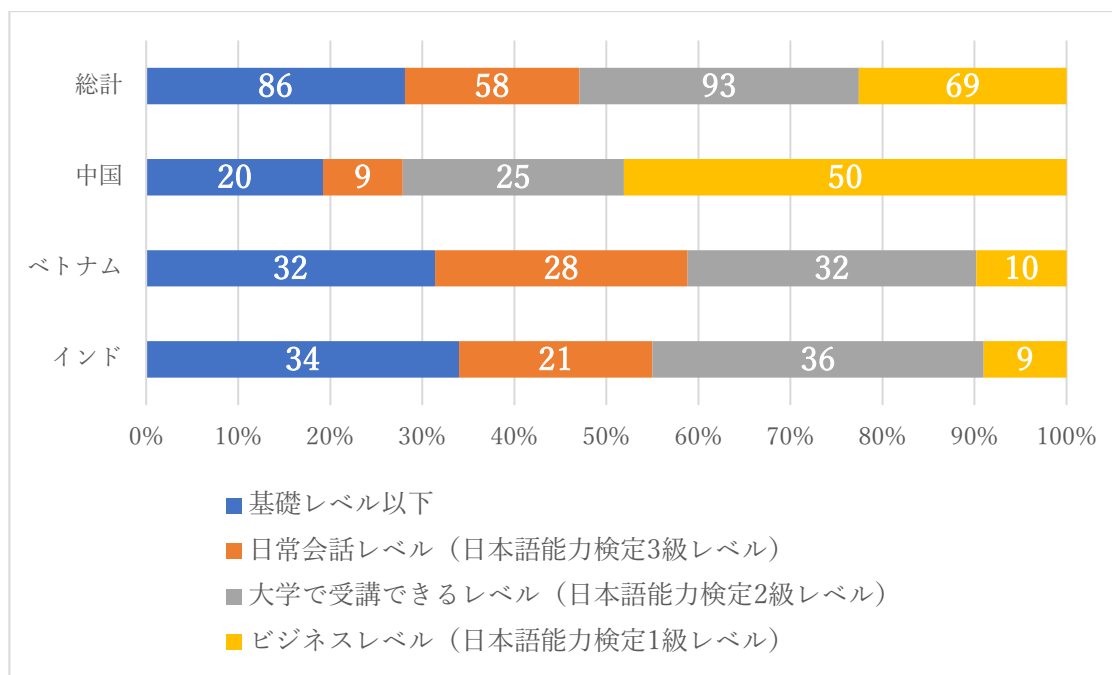


図8：国籍別、日本語能力

図8でわかるように、中国からの回答者の半数弱が「ビジネスレベル」を獲得しており、ベトナム、インドにおいては、日常会話レベル以下の回答者は5割強を占める。

5-8. 番外：国籍別、日本語学習速度（初期アドバンテージの差）

前述の結果から推測できることは、中国国籍の人が中国語における漢字を学習し、漢字というものに慣れているため、日本語力の習得において初期のアドバンテージを持っているのではないかという仮説である。また、ベトナムにおいても歴史的に「漢字圏」に属しており、語彙の類似性がある。そこで、インドを基準として、中国とベトナムは、日本語学習において、どれほど初期アドバンテージを持っているのか考えるために、回帰分析を実施してみた。

目的変数を回答の中の日本語能力試験のレベルにし、「基礎レベル以下」を「日本語能力試験4級と5級の間」と考え「4.5」とコーディングした。また説明変数に、各国籍と回答者の日本語学習期間を、平均算出で用いた算出ルールを適応し、説明変数に加えた。回帰分析はExcelの回帰分析ツールを使用し、最小二乗法を利用している。

回帰分析の結果は次の表4に表す。なお、係数がマイナスになるのは、日本語学習期間が長くなり、日本語能力が高くなるほど、日本語能力試験の数値が低くなるためである（基礎レベル以下=「4.5」…ビジネスレベル(N1)=「1」に置き換えて分析）。

表 7：説明変数（国籍・学習年数）と目的変数（日本語能力）との回帰分析

	係数	標準偏差	t	P-値
切片	4.284	0.113	37.920	0.000
準拠集団：				
インド国籍	-	-	-	-
中国国籍	-0.923	0.122	-7.599	<0.001***
ベトナム国籍	-0.233	0.123	-1.899	0.059*
日本語学習年数	-0.337	0.019	-18.159	<0.001***

* p 値 < 0.1、** p 値 < 0.05、*** p 値 < 0.01

回帰統計	
重相関 R	0.75492997
重決定 R ²	0.56991926
補正 R ²	0.56233568
標準偏差	0.86754902
観測数	306

まず、R 二乗値が 0.56 前後であることから、上記のモデルにやや強い相関が見られることがわかった。また、数値を見ると、結果から下記の推測ができる。

- インド国籍に比べて、中国国籍は文化・言語的な背景により、日本語学習を行う時点で、日本語能力試験のレベルで1段階くらい（0.923）のアドバンテージを持つ。つまり、仮にスタート時点でインド国籍がN5であれば、中国国籍はN4 くらいのレベル差を持っている。
- ベトナム国籍に関しては、p 値から見た相関性はそれほど強くないものの、インド国籍に比べて学習におけるアドバンテージを持つという仮説は0.1の信頼度で有意性が見られた。当該アドバンテージは、0.233レベルと推測。
- また、学習年数を一つ増やすことによって日本語能力試験において0.337レベル捗ると推測。

ただし、モデルの切片は「日本語能力試験 4.2」から始まっていることと、国籍と日本語学習年数という相互作用もあろうため、上記のモデルに限界が多い。国籍と学習スピードの関係についてさらに詳しい分析を行うことは今後の課題である。

6. 本分析

さて、属性を上記に明記した上で、本分析に入りたい。

6-1. 日本在住、日本で働くことに対する意欲

まずは、回答者の日本在住そして日本で働きたいという意欲を、下記の図9と図10で表す。

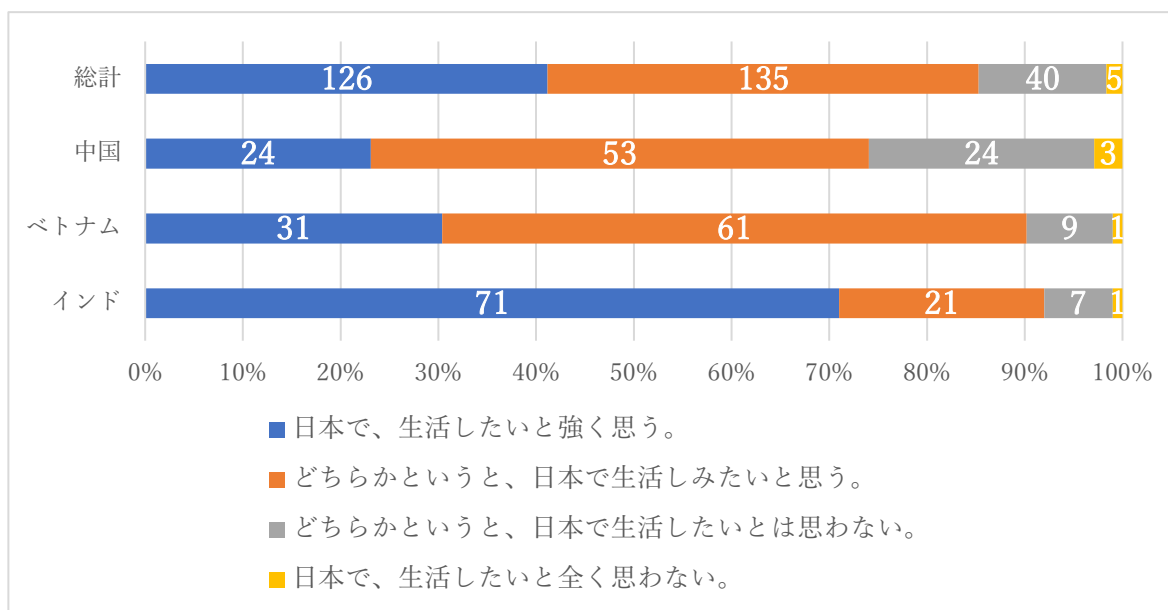


図9：国籍別、日本で「生活」することに対する意向

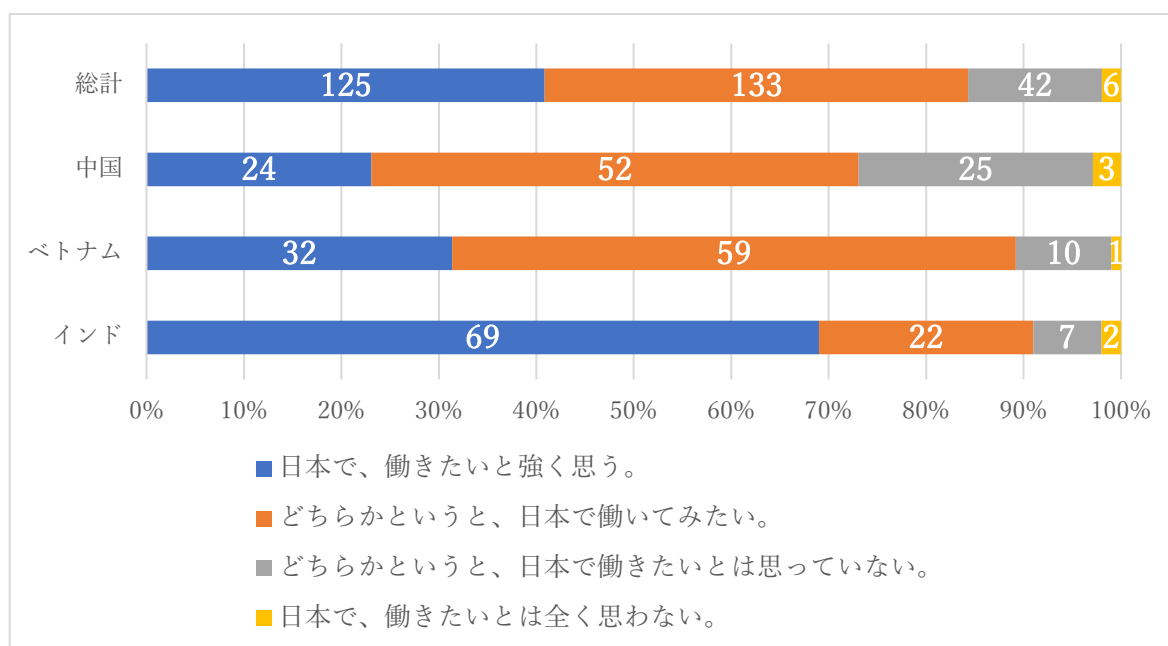


図10：国籍別、日本で「働く」することに対する意識

上記でわかるように、どの国籍においてもどの国籍の回答者も、大多数は日本で生活してみたい・働いてみたいと言う意欲を持っていることがわかる。特にインドからの回答者は、その意欲を強く表している。その一方、中国からの回答者は他の国籍に比べて、やや消極的な態度を表しているが、それでも4分の3は日本で暮らす・働くことについて肯定的に考えている。

また、一つ重要なことは、今回の解答データでは、「日本で生活したい」と「日本で働く」とことに対する意識の差が大きく見られなかったことである。下記の表5で、生活することに対する回答と働くことに対する回答のクロスを表で表す。

表8：回答者の、日本で生活することについての意識と日本で働くことについての意識

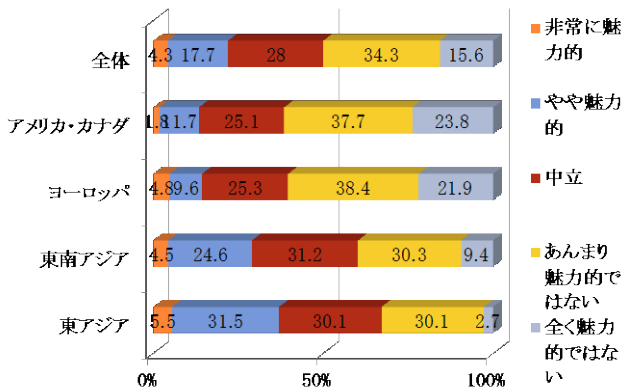
行ラベル	日本で、働きたいと強く思う。	どちらかという と、日本で働いてみたい。	どちらかという と、日本で働きたいとは思っていない。	日本で、働きたいとは全く思わない。	総計
日本で、生活したいと強く思う。	110	12	4	0	126
どちらかという と、日本で生活してみたいと思う。	13	110	11	1	135
どちらかという と、日本で生活したいとは思わない。	2	10	27	1	40
日本で、生活したいと全く思わない。	0	1	0	4	5
総計	125	133	42	6	306

上記でさらにわかるように、回答者の大多数は、日本で生活することと日本で働くことに対して概ね同じ意識を持つ。日本国際推進協会（2015）が行った日本国内に住む外国人に対して行った調査¹¹（参考グラフ1,2）では、回答者は日本で住むことが非常に魅力的だと感じる一方で、日本で働くことについて魅力をあまり感じないという結果とは対照的である。これらの結果から推測するに、日本で生活する過程で、日本で働くことに対する魅力度が下がってしまっているのではないかと思われる。日本国際推進協会（2015）が行った調査の回答者に占める日本で働いた経験がある人の割合は68%であった。このことから、希望を持って

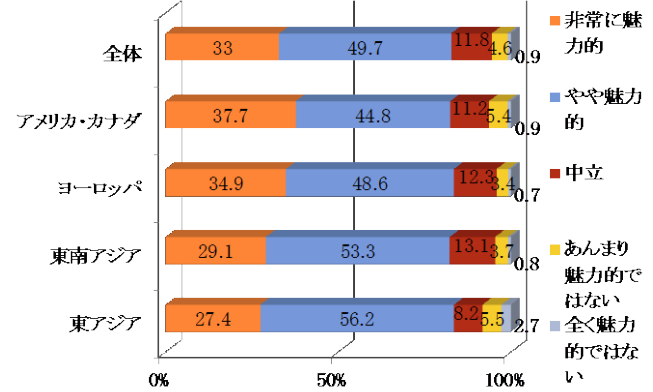
¹¹ <http://japi0808.sakura.ne.jp/job.pdf>

日本で働いてみたが、実際に働いてみると”期待していたよりは良くなかった”という結果が現れたのではないかと。裏を返せば、国外にいる外国人にまでは、まだ日本で働くことで外国人が感じる問題や抱える不満については認知されていないことがうかがえる。

参考グラフ 1：日本で働くことは魅力的か



参考グラフ 2：日本で生活することは魅力的か



6-2. 日本で働くことについて、魅力だと思ったところ

日本で働くことについて考えた上で、国外にいる日本語学習者がなぜ日本で働くことに魅力を感じたのか、その理由について、まずは複数選択で聞き、次に最重要理由を一つ選択させた。その結果を、回答者総数における回答率の下り順で下記の表 6 および表 7 で表す。

表 6 で見られるように、「日本で働くことで学べることがある」と「母国と日本をつなげる仕事がしたい」が、複数選択可能な質問と最重要理由を聞いた質問で、どちらにおいても上位二位の回答率を占めた。これらの理由は、それぞれキャリアの発展に関連し、単純回答率 4 番、そして最重要理由における回答率で 3 番だったの「日本で暮らしたい」を上回っている。つまり、総じていうと、回答者の多くは単純に日本で暮らしたい・住みたいから日本に来ようと思っているわけではなく、キャリア上の魅力を感じ、日本で働こうと思っていると言える。

表 9：国籍別、日本で働くことについての魅力点ごと回答率（複数選択可、数の制限なし）

括弧の中の数値は「該当しない」を除く各国籍からの回答率における順位。

赤塗りは総計の回答率からの-10%以上の差が見られた箇所、青塗りは+10%以上の差が見られた箇所

行ラベル	インド (n=100)	ベトナム (n=102)	中国 (n=104)	総計 (n=306)
日本で働くことで学べることがある	78.0% (1)	58.8% (2)	54.8% (1)	63.7%
母国と日本をつなげる仕事がしたい	62.0% (3)	46.1% (4)	42.3% (2)	50.0%
日本で働くことがキャリアアップにつながる	63.0% (2)	54.9% (3)	22.1% (6)	46.4%
日本で暮らしたい	57.0% (4)	30.4% (5)	41.3% (3)	42.8%
日本での給料が高いと思うため	29.0% (7)	60.8% (1)	31.7% (4)	40.5%
日本で興味がある分野の仕事ができる	52.0% (5)	21.6% (6)	31.7% (4)	35.0%

日本の企業文化が自分に合いそうだから	38.0% (6)	17.6% (7)	5.8% (8)	20.3%
本国でのキャリア構築が困難であるため	18.0% (8)	6.9% (8)	13.5% (7)	12.7%
日本に家族がいるから	3.0% (9)	1.0% (9)	1.0% (9)	1.6%
該当しない	3.0%	6.9%	12.5%	7.5%
「該当しない」を除く、回答者あたり平均選択 回答数	4.00	2.98	2.44	3.13

表 10：日本で働くことについて最重要理由、選択肢ごと回答率（括弧の中の数値は「その他」、「該当しない」を除く各国籍における回答率の順位）

	インド (n=100)	ベトナム (n=102)	中国 (n=104)	総計 (n=306)
母国と日本をつなげる仕事がしたい	31.0% (1)	24.5% (1)	15.4% (3)	23.5%
日本で働くことで学べることがある	21.0% (2)	17.6% (2)	23.1% (2)	20.6%
日本で暮らしたい	15.0% (3)	14.7% (3)	25.0% (1)	18.3%
日本での給料が高いと思うため	6.0% (5)	14.7% (3)	9.6% (4)	10.1%
日本で働くことがキャリアアップにつながる	12.0% (4)	11.8% (5)	6.7% (5)	10.1%
日本で興味がある分野の仕事ができる	8.0% (6)	2.0% (7)	5.8% (6)	5.2%
本国でのキャリア構築が困難であるため	2.0% (7)	0.0%	4.8% (7)	2.3%
日本の企業文化が自分に合いそうだから	1.0% (8)	4.9% (6)	0.0%	2.0%
日本に家族がいるから	1.0% (8)	0.0%	0.0%	0.3%
その他	3.0%	9.8%	9.6%	7.5%
該当しない	3.0%	8.8%	9.6%	7.2%

また、国別の差に注目すると、インドからの回答者は肯定的な意見を出しやすく、選択肢した回答数が他の国籍よりは1つ多い。推察するに、日本に対する多方面における魅力は、図 10 で表れた日本で働くことについての強い意欲と関連があるかもしれない。

一方で、ベトナムと中国に関しては、平均選択回答数がより低く、特に中国の平均選択回答数は、図 10 に表れた相対的な消極性に関連していると思われる。

なお、ベトナムに関しては給与水準の高さ、そして中国に関しては日本で暮らすこと自体の魅力が大きい魅力点だとわかる。

6-3. 日本で働きたくない理由

日本で働きたくないと思う理由も聞いた。その回答を「日本で働くことについて、魅力だと思ったところ」と同じ形式で、表 8 と表 9 に表す。

表 11：日本で働きたくないと思った理由、選択肢ごとの回答率。（複数選択可、選択数の制限なし）

括弧の中の数値は「該当しない」を除く各国籍からの回答率における順位。

赤塗りは総計の回答率からの-10%以上の差が見られた箇所、青塗りは+10%以上の差が見られた箇所

	インド (n=100)	ベトナム (n=102)	中国 (n=104)	総計 (n=306)
差別を受ける可能性があるため	31.0% (1)	51.0% (1)	46.2% (1)	42.8%
日本の企業文化が自分に合わないと思うため	19.0% (2)	27.5% (2)	42.3% (2)	29.7%
家族の同意が得られないため	15.0% (3)	17.7% (3)	31.7% (3)	21.6%
日本で暮らしたくないため	5.0% (7)	8.8% (4)	19.2% (4)	11.1%
日本に対するイメージがよくないため	6.0% (6)	3.9% (5)	12.5% (5)	7.5%
母国で働くほうがキャリアアップになるため	7.0% (4)	5.9% (6)	8.7% (7)	7.2%
日本で働くことに興味はない	0.0% (8)	5.9% (6)	12.5% (6)	6.2%
日本の給料が高いとは思えないため	7.0% (4)	2.9% (8)	5.8% (8)	5.2%
該当しない	40.0%	19.6%	9.6%	22.9%
「該当しない」を除く、回答者あたり平均選択 回答数	0.90	1.24	1.79	1.31

表 9：日本で働きたくないと思った理由ことについて最重要理由、選択肢ごと回答率

括弧の中の数値は「その他」、「該当しない」を除く各国籍における回答率の順位。

青塗りは平均と+10%以上の差が見られた箇所

	インド (n=100)	ベトナム (n=102)	中国 (n=104)	総計 (n=306)
差別を受ける可能性がある	17.0% (1)	36.3% (1)	16.3% (3)	23.2%
日本の企業文化が自分に合わないと思うため	9.0% (3)	15.7% (2)	24.0% (1)	16.3%
家族の同意が得られないため	13.0% (2)	8.8% (3)	21.2% (2)	14.4%
日本で暮らしたくないため	5.0% (4)	3.9% (5)	5.8% (5)	4.9%
日本で働くことに興味はない	1.0% (8)	1.0% (8)	10.6% (4)	4.2%
母国で働くほうがキャリアアップになるため	5.0% (4)	3.9% (5)	2.9% (8)	3.9%
日本に対するイメージがよくないため	2.0% (7)	2.9% (7)	4.8% (6)	3.3%
その他	4.0% (6)	4.9% (4)	1.0% (9)	3.3%
日本の給料が高いとは思えないため	1.0% (8)	1.0% (8)	3.8% (7)	2.0%
該当しない	43.00%	21.57%	9.62%	24.51%

上の表でもわかるように、日本で働きたくないと思った理由の中で「差別される可能性」はどの国籍においても、単純回答の中で最も挙げられた。最重要回答に関しても、ベトナムとインドにおいてはトップの選択肢となった。

また、表6と7の傾向と同じであるが、単純回答において働きたくない理由を多く選んだ国籍の方は、日本で働くことに対して消極的な態度を持つことにつながりやすいことがわかる。日本で働きたくない理由の平均選択回答数は、日本で働きたい意欲では最も強かったインドでは選択が1未満に対し、逆にその意欲が最も弱かった中国からの回答者では1.8近くあった。

そのほか、それぞれの国籍ごとの傾向を見ると、前述のように、インドからの回答者はそもそも働きたくない理由をあまり選択されていない。最重要理由に関しても4割以上が「該当しない」と回答した。

一方で、ベトナムでは「差別」を選択する回答者が多く、最重要回答においても3分の1を占め、他の国籍の回答率と大きな乖離があった。推察するに、近年、日本在住のベトナム人の人数が急増していることから、日本にいるベトナム人からベトナム本国にいる人に日本で差別を受けた体験などが伝わっていることが一つの要因として考えられうる。

中国に関しては、日本の企業文化に対する疑問と、本人の意向とは別の観点で、家族からの同意が支障になっていることがわかった。

6-4. 日本企業に対する印象

次に、日本で働くことを魅力だと感じる理由をさらに深ぼるために、それぞれの回答者が持っている日本企業（あるいは組織）についての印象を聞いた。その結果を下記に表す。

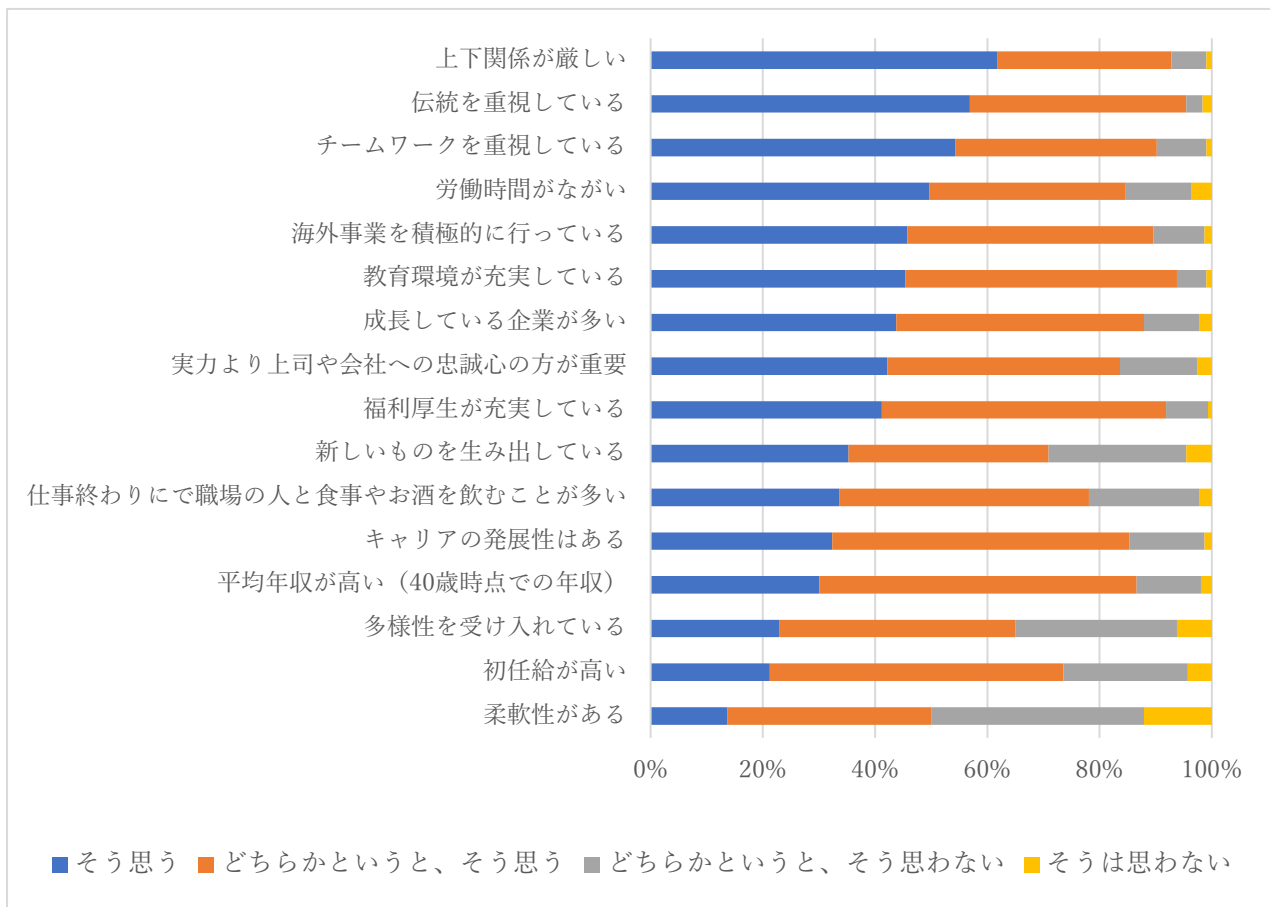


図 11：日本企業に対するイメージ (n=306)

また、全ての国籍において、各回答結果の乖離はそれほど大きくなかったものの、各問に対して「そう思う」と「どちらかという、そう思う」の合計が3つの国籍を合わせた平均値と5%以上の乖離があった箇所を下記の表に表す。

表 12：日本企業に対する印象について、それぞれの国と平均に5%以上の差が見られている箇所

項目	国籍	「そう思う」と「どちらかという、そう思う」の合計	3カ国平均との乖離
チームワークを重視している	インド	98.0%	+7.8%
チームワークを重視している	ベトナム	83.3%	-6.9%
海外事業を積極的に行っている	インド	95.0%	5.5%
海外事業を積極的に行っている	中国	82.7%	-6.9%
多様性を受け入れている	ベトナム	56.9%	-8.2%
キャリアの発展性はある	インド	93.0%	+7.7%
キャリアの発展性はある	中国	74.0%	-11.3%
成長している企業が多い	インド	96.0%	8.1%
成長している企業が多い	ベトナム	95.1%	7.2%
成長している企業が多い	中国	73.1%	-14.8%
新しいものを生み出している	インド	93.0%	22.1%
新しいものを生み出している	ベトナム	64.7%	-6.2%
新しいものを生み出している	中国	55.8%	-15.1%
仕事終わりにで職場の人と食事やお酒を飲むことが多い	インド	88.0%	9.9%
仕事終わりにで職場の人と食事やお酒を飲むことが多い	ベトナム	67.7%	-10.5%

国籍間の差に注目すると、インドは他の国籍に比べて総じて「肯定的」な意見を持ちやすく、一方でベトナムは企業文化（チームワークの重視、多様性の受け入れ）に対してそれほど肯定的な意見を持たない傾向があった。中国からの回答者は、日本企業の事業性（キャリアの発展性、新しいものを生み出しているか、成長しているか）に対して肯定的な意見をそれほど持っていないことがわかる。

これに関して、企業の成長性やキャリアの発展性に関しては、各国の一人当たり GDP の水準にも影響しているのではないかと推察する。日本及び各国の一人当たり GDP (2021 年) は下記の通りである。

世界ランキング	国	US ドル
27 位	日本	39,301
64 位	中国	12,562
128 位	ベトナム	3,718
147 位	インド	2,280

経済水準で日本に近い、または超える国では、企業やキャリアに対する魅力度が相対的に薄れ、逆に経済水準で日本より下回る度合いが大きいほど、企業やキャリアに対して魅力を感じやすくなるのではないだろうか。

なお、考察の補足として、この結果は「日本語学習者」に限定した結果であることを強調したい。そもそも、日本語を学習していることは、日本に対してポジティブな印象を持っていたり、文化に対する興味を持っていたり、総じて本国の平均より日本に対して肯定的な意見を持ちやすいと考えられうる。つまり、例えば、上記のように中国からの回答者の過半数は日本企業について「新しいものを生み出している」と回答しているが、中国人の全体に対して質問をすると過半数を下回る可能性が低くないことを強調したい。

6-5. 他の要素との相関

前述の「日本企業に対する印象」に関して、国籍以外の要素で、例えば「社会人であるか」、そして「日本での滞在期間」なども影響するか仮説を立てた。

具体的には、国籍に加え、社会人そして日本での6ヶ月以上の滞在経験の有無を説明変数に加え、そう思わない=1、どちらかというと思わない=2などでラベリングをした上、被説明変数で、回帰分析を試みた。

詳しくは付録2で触れるが、回帰分析を試みたところ、どの結果の補正R2値も0.3を下回った。従って、モデルの脆弱性があり、ここでは詳細結果について言及しない。

6-6. 就職する上での困難

それぞれの国の回答者に、日本で仕事を見つける上で想定されている困難を聞いた。その結果を次の表11に表す。

表 13：日本で就職することの困難

(青塗りは平均と+10%以上の差、赤は-10%が見られた箇所)

	インド (n=100)	ベトナム (n=102)	中国 (n=104)	総計 (n=306)
生活コストが高い	44.00%(2)	62.75%(1)	59.62%(1)	55.56%
求人情報を見つけることが難しい	62.00%(1)	33.33%(4)	35.58%(4)	43.46%
専門知識やスキルが必要なレベルに達していない	30.00%(4)	35.29%(3)	42.31%(2)	35.95%
ビザの仕組みがわからない	31.00%(3)	23.53%(5)	41.35%(3)	32.03%
日本語が難しい	14.00%(5)	50.98%(2)	25.00%(6)	30.07%
家族の同意	13.00%(6)	16.67%(6)	35.58%(4)	21.90%

上の表を見ると、生活コストの高さは、どの国においても多くの回答を集めており、同じ傾向が見受けられるが、それ以外の選択肢については、それぞれの国の回答順位に大きな差が見られた。

まず、インドでは、求人情報が見つからないという困難は、他の2つの国籍の回答者の2倍近くに上った。こちらは、他の2国籍に比べて、そもそも日本への留学・就職が定着していないなどが原因の一つだと思われる。別の観点から言うと、求人企業や留学を受け入れる教育機関がインドで積極的に情報を出していない結果とも考えられうる。一方で、「日本語が難しい」と考えている比率が非常に低い。特に図8でわかるように、インドからの回答者の日本語能力は中国からの回答者に比べて低く、ベトナムからの回答者と大差が見られなかったのに、日本語の難しさを困難だと感じないことは、日本で求められる日本語レベルを知らない、あるいはそれを「問題」として考えていないなどの可能性が考えられる。

他の国籍でいうと、ベトナムでは日本語が難しいを選択する人が多い一方、中国の人は言語能力が一番高かったからか、言語ではなくスキルレベルが問題点として多く挙げられている。また、中国では親の許可が得られないことを困難として挙げている回答者の比率は3分の1を超えた。親の許可については次の項目でより深く言及する。

6-7. 親が許可を得る可能性

本人の意向ではなく、親という外部要因が日本就職に対する阻害要因として、どの程度影響力があるのかを調べるために、回答者に親の許可についての質問を設けた。その結果を下の図12に表す。

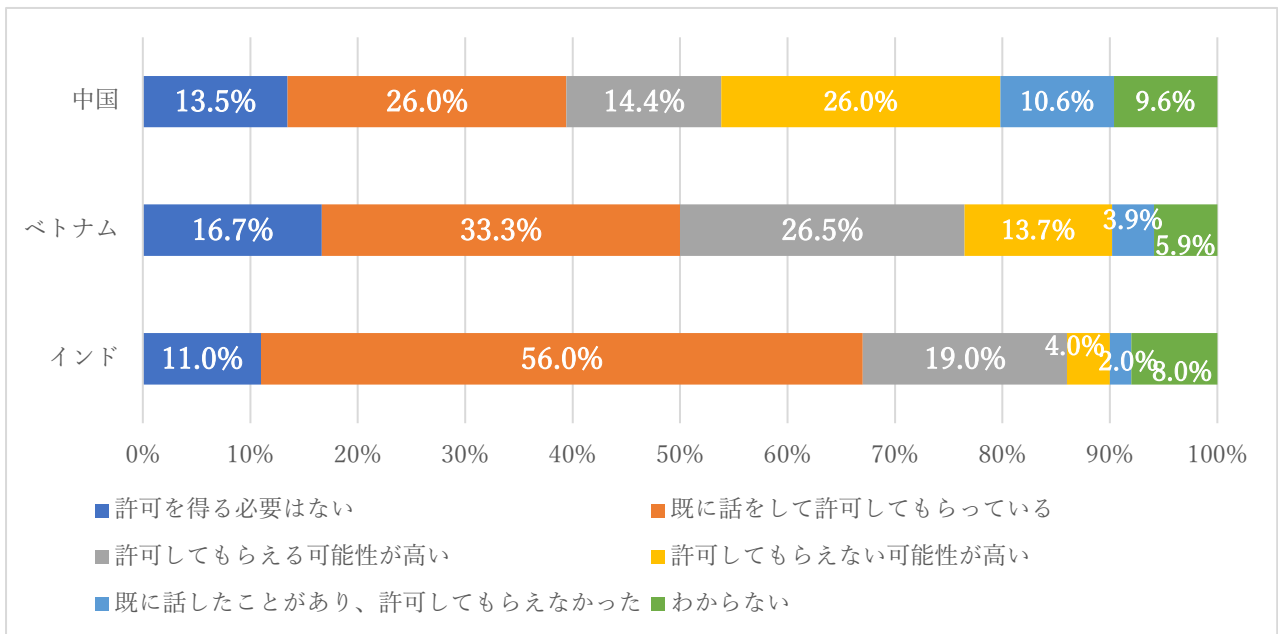


図12：国籍別、親の許可についての回答

こちらの回答においても、国籍間で大差が見られた。そもそも、「許可を得る必要はない」と「わからない」という回答にそれほど大きい差は見られなかった。

大きな差が見られたのは、既に許可をもらっている層とこれから許可を得る必要がある層の部分である。インドでは、5割以上の回答者はすでに許可をもらっており、「許可してもらえ可能性」と含めたら回答者の4分の3に達する。つまり、インドにおいて親は日本就職に対して肯定的な考えを持っている傾向があることがわかる。

一方で、ベトナムおよび中国の結果は興味深い。両国籍の回答者の中で、「すでに話をしている」人の比率（中国：36.6%、ベトナム：37.2%）と「話をしていない中で推測している」（中国：40.4%、ベトナム：40.2%）は非常に似ている。ただし、その結果に大きな差が見られた。

ベトナムでは、相談している人の中に、許可：不許可の比率は8.5：1、相談していない人の中で許可もらえそう：許可もらえそうにない人の比率は2:1近くだった。一方で、中国の回答者では許可：不許可の比率は2.5：1、相談していない人の中で許可もらえそう：許可もらえそうにない人の比率は1:2近くだった。

インドに比べ、他の2国籍に関しては、親の許可を得にくい可能性があるゆえ、親にまだ話をしていない比率が高まったことが推察される。しかしながら、ベトナムの方が中国よりも、親の許可をもらった、あるいはもらえそうだと回答する人が多いことがわかった。これは、前述の質問「日本で働きたくない理由」において、中国からの回答者の3分の1が親の許可獲得が問題だということを裏付ける。中国の親が、他の国の親に比べて子供の日本での就職に対してそれほど前向きではないということは、日本企業に対する印象にあったキャリアの発展性に対する懸念によるものなのか、それとも別の観点でコロナ禍による意識変化なのかは今後の研究の課題である。

6-8. 日本就職で検討している方法

次に、回答者が日本就職に挑むとしたら、どのように仕事を探すかの質問を設けた。その結果は下記の図13に表す。

まず、どの国籍でも、「まだ考えたことがない」と回答した割合は1割前後で、回答者の中で何かの考え・アクションをとっている人が多いことがわかる。次に、「調べたことがあるけど、わからない」ことは、ベトナムでは1割、インドと中国では3割という大差が見られた。つまり、ベトナムでは調べたら何かの日本就職に対するパイプラインが他の国に比べてより安易に見つかると言えるだろう。特に、ベトナムからの回答者の中に「母国にある日本企業に連絡する」、「母国で開催されている就職イベントに参加する」の回答者も多く、つまりベトナムでは日本就職の機会が他の国より多いことがわかる。

一方で、インドでは逆の傾向が見られた。母国で開催される就職イベントに参加すると回答した割合は3割未満だった。インドでの日本就職イベントがそれほど開催されない、あるいは認知度が低い可能性もある。これに対して、Web求人メディアあるいは就職エージェントの活用は盛んな傾向がうかがえる。

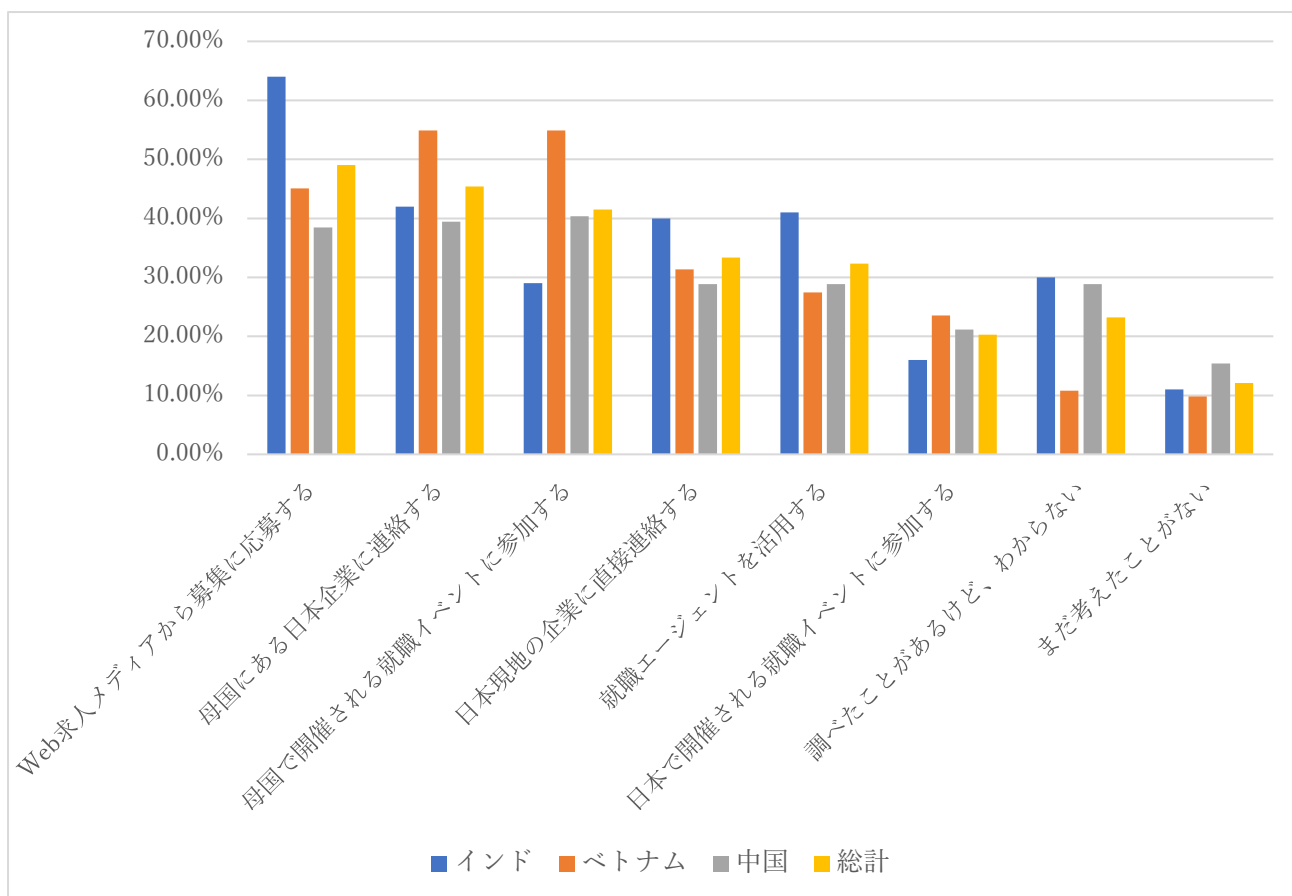


図 13 : 国別、日本就職をやろうとしたら検討している方法

また、総じて、日本にある企業に連絡すること、および日本での就職イベントに参加することよりも、母国にある日本企業への連絡および母国で開催される就職イベントに参加することを優先していることがわかる。日本に行くことの費用と工数の負荷、日本企業が海外から採用しているかわからないことに対する不安が想定され、日本就職であっても最初の動き出しは母国で行うという思考がうかがえる。

※参考情報：インド、中国、ベトナム現地へ進出している日系企業数（JETRO より）

国	企業数
中国	3万1,047社（拠点数、香港総領事館管轄区域含む）※2021年10月 ¹²
ベトナム	1,973社（商工会議所会員数）※2022年5月 ¹³
インド	1,439社（4,790拠点）※2021年10月 ¹⁴

6-9. 日本就職に関連する経験

¹² https://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/basic_01.html

¹³ https://www.jetro.go.jp/world/asia/vn/basic_01.html

¹⁴ https://www.jetro.go.jp/world/asia/in/basic_01.html

さらに、回答者が日本で就職するために、どのような方法を検討しているかだけでなく、実際に日本で就職するために何らかの経験をしているかも聞いた。その結果は下記の図 14 に表す。

まず、明確になったことは、「該当しない」という選択肢を回答する人の少なさである。このことから、今回の回答者の大多数は日本での就職（あるいはそれについての模索）をするために何かの行動を起こしていることがわかる。これは、上の図 13 にある「まだ考えたことがない」という選択肢の回答比率の低さと共通している。

回答結果から、インターンシップを探してみたという経験がある人は、決して多くはないことがわかった。どの国においても探した割合は3分の1未満で、実際にインターンシップをした経験がある割合は2割未満となった。この比率が高いのか低いのかは評価が難しいところではあるが、現状決して高くはないと言えるであろう。実際、インターンシップを目的に海外から日本に来ているかは、インターンシップの種類や形式によってビザが異なるため、厳密な人数は把握しきれない。しかしながら、日本で就職を希望する人に対して、まだ日本企業が日本でインターンシップをする機会提供が十分にできていない可能性もあるように思われる。

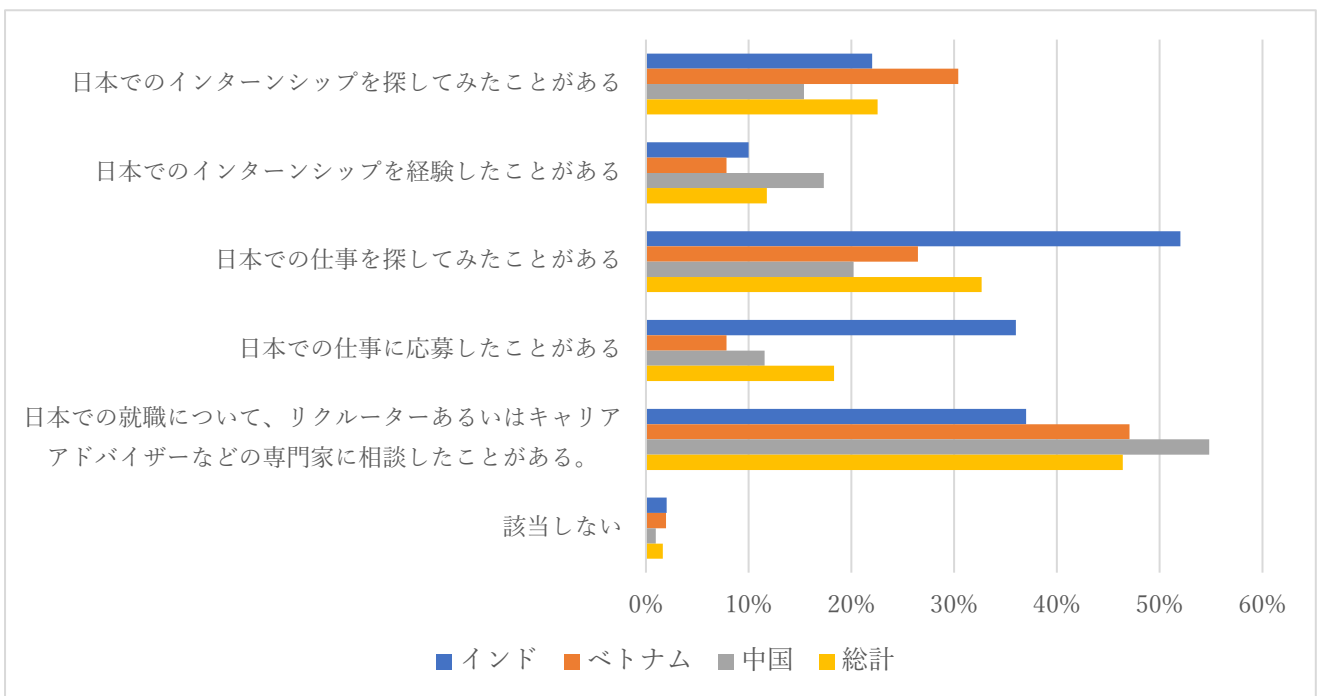


図 14 : 国籍別、日本就職関連経験

また、日本での仕事を探した経験がある人と、実際に日本での仕事に応募したことがある経験がある人の比率に関して国別で大差が見られた。ベトナムと中国では、仕事を探してみたことがある回答者の割合は2割と3割の間で応募率は1割前後である。つまり、探したことがある人の半分しか応募をしていない。一方で、インドでは過半数の回答者は日本での仕事を探したことがあり、応募したことがある人は3分の1ぐらだった。

「仕事を探したことがあるが、応募していない」回答者だけに絞ったら、インドとベトナムでは24人、そして中国が17人となった。こちらの層と、「応募したことがある」層、そして「探したことも応募したこともない」層で、上記の表11に上がった、「日本で就職することの困難」とクロスで集計し、下記の表12にまとめた。

表14：日本就職についての経験有無による、日本就職に感じる困難

	応募経験あり (n=56)	探す経験あり、応募経験なし(n=65)	応募も探す経験もなし(n=185)	総計 (n=305)
日本語が難しい	21.43%	30.77%	32.43%	30.07%
専門知識やスキルが必要なレベルに達していない	26.79%	38.46%	37.84%	35.95%
生活コストが高い	46.43%	50.77%	60.00%	55.56%
求人情報を見つけることが難しい	55.36%	53.85%	36.22%	43.46%
ビザの仕組みがわからない	28.57%	27.69%	34.59%	32.03%
家族の同意	19.64%	20.00%	23.24%	21.90%

それぞれのグループで傾向に差があることがわかった。まず、応募経験がある人は、日本語の難しさと求められているスキルレベルに達していないことについて、他のグループと比較して解答率が低かった。この結果から、日本語力があり、専門性がある人は、日本での仕事に応募する可能性が高まることがうかがえる。また、求職者に求める条件を緩和することで、さらに応募する人は増えるかもしれない。

一方で、応募経験がある人と仕事を探したことがある人を一つのグループとして考え、応募も探したこともない人を比べると、「生活コストが高い」、「求人情報を見つけることが難しい」という項目に大きい差が見られた。推察であるが、この傾向から次の2つが考えられうる。まず1つ目として、求人を探した経験がない人は、生活コストの高さで落胆して、求人を探すことが消極的になる可能性がある。次に2つ目として、求人を探すことで、およその給与相場が分かり、生活コストに関する懸念が多少解消されうるということである。そして、応募経験がある人、もしくは求人を探したことがある人は「求人情報を見つけること」の難しさを多く挙げている。つまり、まだ仕事を探してみたことがない人は、実際に探した経験がないため、求人を見つける難しさを過小評価している可能性がある。

6-10. 希望業界

次に、回答者が興味を示している業界に着目したい。それに関する問いの結果を下記の図 15 に表す。また、こちらの業界のリストは、出入国在留管理庁が公開している統計¹⁵（令和 2 年 12 月）に記載されているリストを参考に選択肢を作成している。

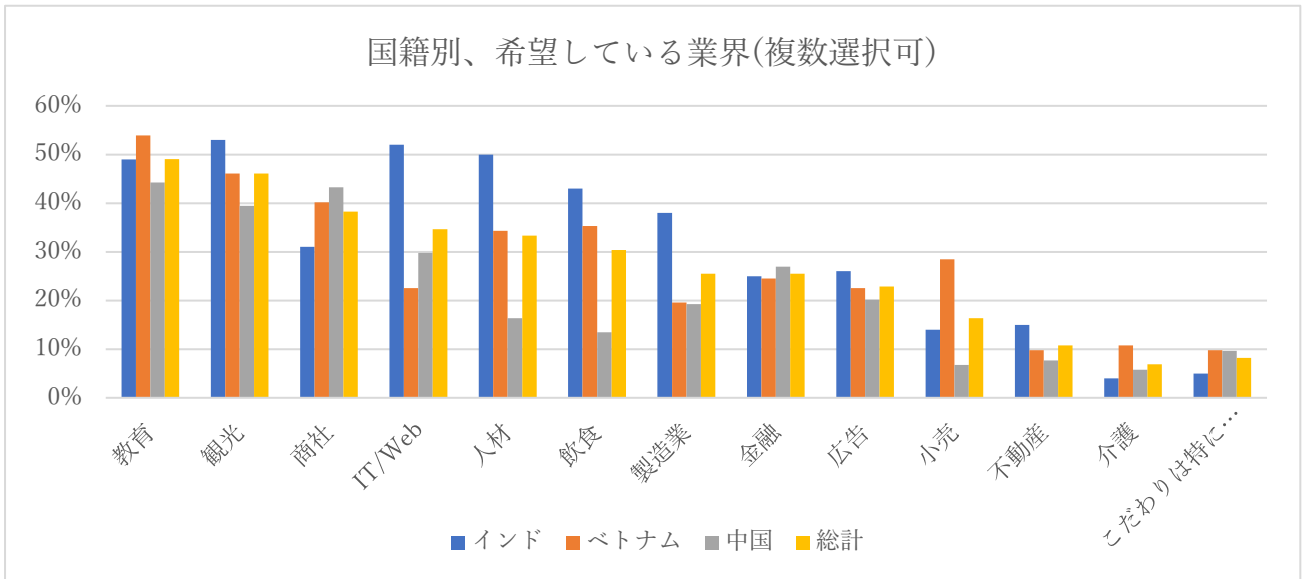


図 15 : 国籍別、興味がある業界（複数選択可）

ちなみに、それぞれの国籍で見た平均回答数は、インドでは 4.0、ベトナムでは 3.5、そして中国では 2.7 で、平均は 3.4 となった。表 7 での、国籍別で見た「積極性」の差は、こちらの部分でも見えるといえる。ただ、国籍だけではなく、学習分野ごとの相関性もあるという仮説をたて、勉強分野ごとの興味分野の分布も調べた。その結果を下記の図 16 にて表す。

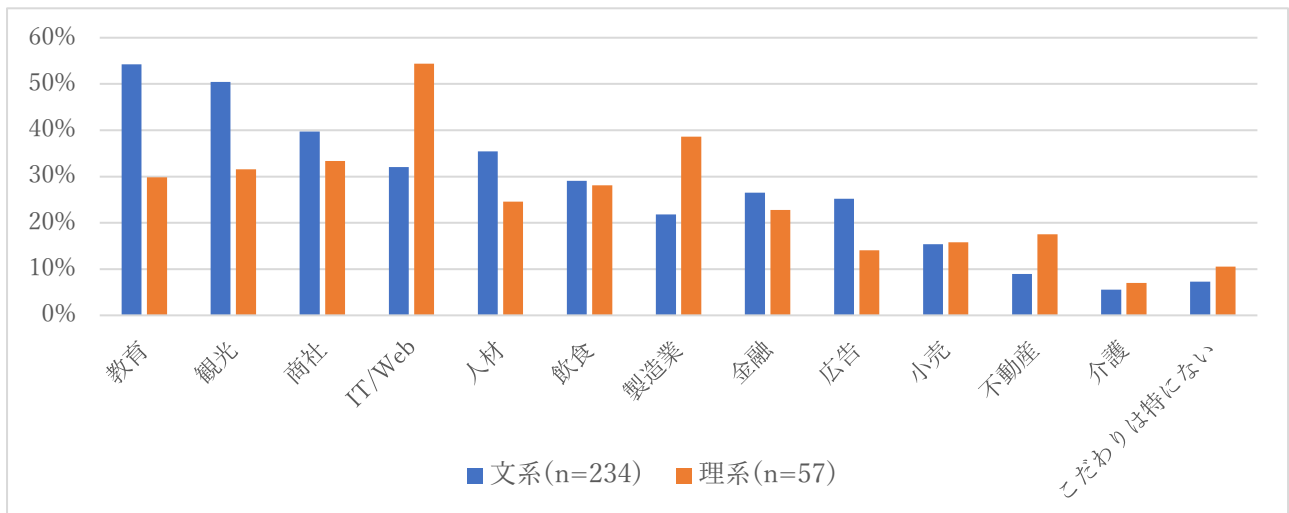


図 16 : 「その他」を除いた勉強分野ごと、希望業種の回答率

¹⁵ chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.moj.go.jp/isa/content/001336801.pdf?fbclid=IwAR0oNLuH I2qsiGztNCbWdsHvTl6JW7_7QYcBojYs0ZUaKdVBTa_b69TgbeE

まず、「こだわりは特にない」ほどの分類においても1割かそれ以下であることに注意したい。つまり、回答者の多くは、何かの方向性に対して興味・魅力などを感じて、それに従って仕事をしたいという気持ちが伺える。

また、特定の分野への興味に関して、学習分野と希望している業種に一定の関係性が見られた。IT/Web、製造業には理系出身の回答者が集まりやすく、教育、観光では文系出身の回答者が多く集まる傾向が見られた。

一方で、図5で見られたように、全ての国籍において文系の回答者は7割あるいはそれ以上を占めた。つまり、理文による差だけでは、国籍間の差を説明しにくい。国籍間で10%以上の乖離がある業種を下の表13に記載する。

表15：国籍別、それぞれの業種についての解答率が平均と10%以上乖離があった項目

業種	インド (n=100)	ベトナム (n=102)	中国 (n=104)	総計 (n=306)
IT/Web	52.00%	22.55%	29.81%	34.64%
人材	50.00%	34.31%	16.35%	33.33%
飲食	43.00%	35.29%	13.46%	30.39%
製造業	38.00%	19.61%	19.23%	25.49%
小売	14.00%	28.43%	6.73%	16.34%

差が見られた業種のいくつかにおいて、インド出身者の回答率が高くなる傾向があった。前期の表6<日本で働くことについて感じている魅力点>では、国外の日本語学習者は日本での仕事について感じている魅力は、学び、キャリアアップの可能性、そして母国と日本をつなげる仕事の可能性が上位に挙げられた。その結果とこちらの結果を掛け合わせると、インドにおける日本語学習者は、これらの業界に対して、他の国籍の回答者よりも学びやキャリアアップの可能性、母国との繋がりを形成できる可能性を感じていると考えられる。

6-11. 希望職種

また、業種だけではなく、職種についても質問した。その結果を下記の図表に表す。また、こちらで使用している職種のリストは、業種と同じく出入国在留管理庁が公開している統計¹⁶（令和2年12月）に記載されているリストを参考に選択肢を作成している。

¹⁶ chrome-

extension://efaidnbmnnnibpcajpcgiclfndmkaj/https://www.moj.go.jp/isa/content/001336801.pdf?fbclid=IwAR0oNLuHl2qsiGztNCbWdsHvTl6JW7_7QYcBojYs0ZUaKdVBTa_b69TgbeE

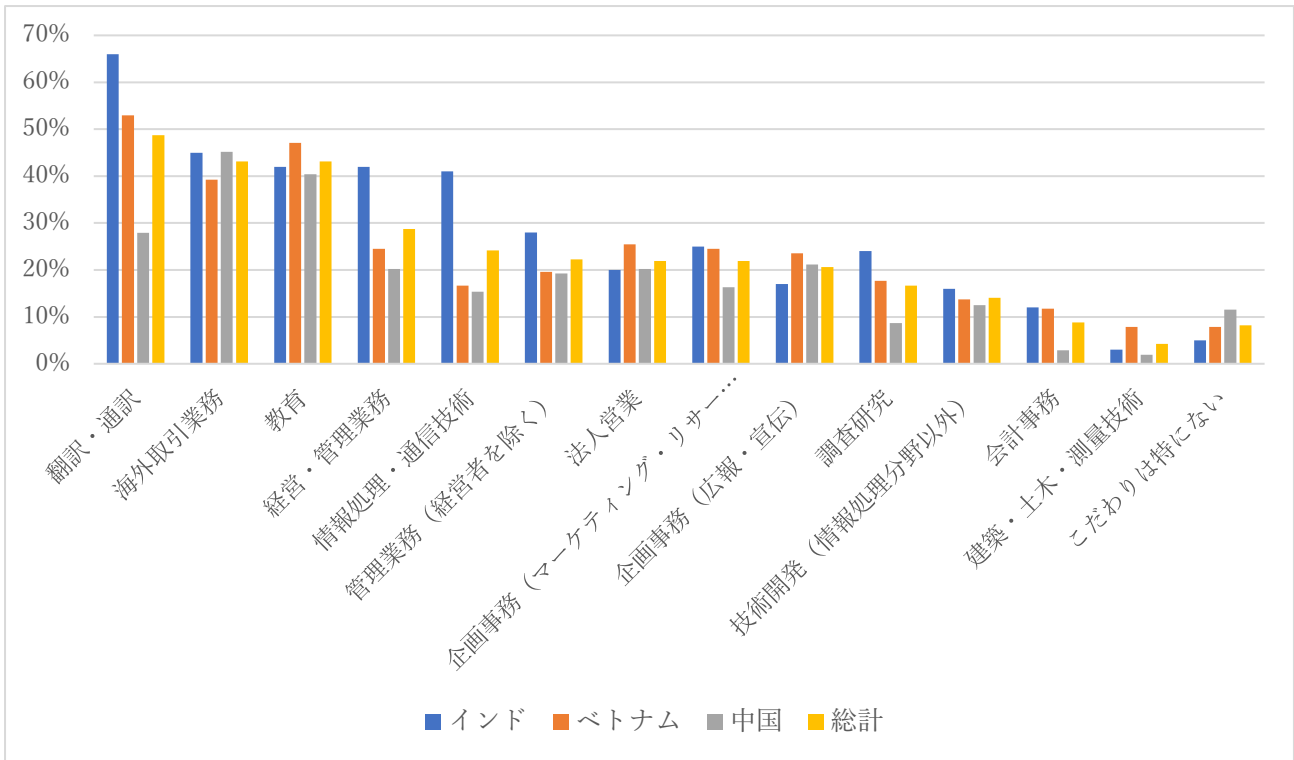


図 17：国籍別、興味がある職種（複数選択可）

なお、国籍ごとの平均選択数はインドでは3.8、ベトナムでは3.2、中国では2.5で、合計の平均は3.2であった。業種でも見られた国籍間の「積極性」は職種でも見られた。

また、勉強分野で分かれた回答を下記の図 18 に表す。

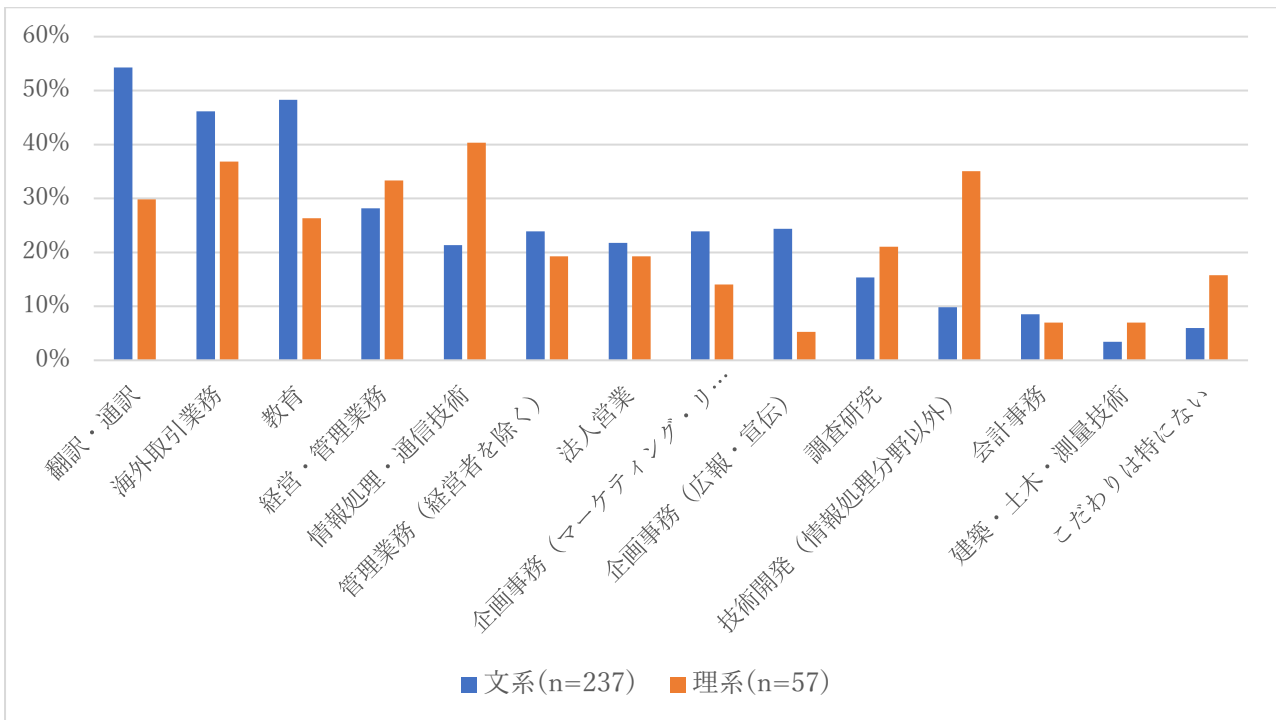


図 18：「その他」を除いた勉強分野ごと、希望職種の回答率

総じていうと、業種でも見られた「こだわりは特にはない」という回答の低さは、こちらの職種でも見られた。

また、それぞれの職種の「理系らしさ」「文系らしさ」によつての回答の分布が見られた。しかし実際には、勉強分野は卒業後に就く仕事の職種に直接的に関係するかもしれないが、業種に関しては必ずしもそうとは限らない。例えば、IT企業におけるマーケティング職などである。それにも関わらず、希望業種と希望職種において、同じような「理系らしさ」、「文系らしさ」の傾向が見られたことは、業種と職種を区別していない回答者が一定いたことが考えられる。

職種においても、国籍間で総計の10%以上の乖離がある箇所を下記に記載する。

表 16：希望職種における、平均から10%以上の乖離があった選択肢

職種	インド (n=100)	ベトナム (n=102)	中国 (n=104)	総計 (n=306)
翻訳・通訳	66.00%	52.94%	27.88%	48.69%
経営・管理業務	42.00%	24.51%	20.19%	28.76%
情報処理・通信技術	41.00%	16.67%	15.38%	24.18%

国籍間で大きいばらつきがあった項目は業種に比べて少ないものの、こちらにおいてもインド出身者の回答率の高さが見られる。

翻訳・通訳において、インド出身者の回答が多く、中国出身者の回答がかなり少ないという結果が見られた。そもそもインド出身者の回答「翻訳・通訳」が、「英語」に対してなのか、ヒンディー語、タミル語などの「母国の言葉」に対してなのかは不明であるが、いずれにせよ可能性を感じていることは明白だ。その一方、中国出身者の回答の低さから、日中翻訳における市場飽和（の印象が強いこと）が示唆される。

また、インド出身者の「経営・管理業務」の回答の多さから、単に「働きに来る」のではなく、「事業をつくる・展開する」希望が見られた。つまり、インド出身者は他の国籍の回答者に比べて、自ら会社を作りたい・あるいは企業幹部に入りたいという希望が伺える。

6-12. 職場選びの基準

また、希望している業種と職種のみではなく、実際会社選びをするときにどういう要素を重視しているかの質問も設けた。その結果を下記の表15に表す。

表 17：日本で働く場合に重視する要素、選択肢ごとの回答率（複数選択可、数の制限なし）

括弧の中の数値は各国籍からの回答率における順位。

赤塗りは総計の回答率からの-10%以上の差が見られた箇所、青塗りは+10%以上の差が見られた箇所

行ラベル	インド (n=100)	ベトナム (n=102)	中国 (n=104)	総計 (n=306)
給料	72.0%(4)	87.3%(2)	79.8%(1)	79.7%
労働環境	73.0%(3)	88.2%(1)	70.2%(2)	77.1%
仕事内容	80.0%(1)	75.5%(3)	68.3%(3)	74.5%
キャリアアップ の可能性	72.0%(4)	72.5%(4)	59.6%(4)	68.0%
社風	68.0%(6)	72.5%(4)	49.0%(6)	63.1%
研修の機会	74.0%(2)	51.0%(8)	36.5%(9)	53.6%
事業の成長性	42.0%(10)	66.7%(6)	48.1%(7)	52.3%
生活する地域	36.0%(1)	66.7%(6)	53.8%(5)	52.3%
企業の理念	55.0%(7)	21.6%(11)	38.5%(8)	38.2%
会社のブランド	38.0%(9)	39.2%(9)	36.5%(9)	37.9%
会社の規模	15.0%(11)	30.4%(10)	24.0%(11)	23.2%
「該当しない」 を除く、回答者 あたり平均選択 回答数	6.25	6.71	5.64	6.20

表 18：日本で働く場合に最も重視する要素、選択肢ごと回答率

(括弧の中の数値は「該当しない」を除く各国籍における回答率の順位。

赤塗りは総計の回答率からの-10%以上の差が見られた箇所、青塗りは平均と+10%以上の差が見られた箇所)

行ラベル	インド	ベトナム	中国	総計
給料	12.0%(5)	24.5%(2)	36.5%(1)	24.5%
労働環境	17.0%(2)	30.4%(1)	10.6%(3)	19.3%
仕事内容	22.0%(1)	7.8%(4)	20.2%(2)	16.7%
キャリアアップ の可能性	14.0%(3)	13.7%(3)	4.8%(8)	10.8%
社風	8.0%(6)	5.9%(5)	5.8%(6)	6.5%
生活する地域	5.0%(7)	3.9%(8)	6.7%(4)	5.2%
研修の機会	11.0%(4)	4.9%(6)	0.0%(12)	5.2%
事業の成長性	3.0%(9)	4.9%(6)	5.8%(6)	4.6%
会社のブランド	4.0%(8)	2.0%(9)	6.7%(4)	4.2%
企業の理念	2.0%(10)	0.0%(11)	1.9%(9)	1.3%
会社の規模	0.0%(12)	0.0%(11)	0.0%(12)	0.0%
該当しない	2.0%(10)	2.0%(9)	1.0%(10)	1.6%

まず、複数選択の方の結果を見ると、国籍によって順位が多少前後したものの、どの国籍でも一番回答率が高かった5つの選択肢に給料、労働環境、仕事の内容とキャリアアップの可能性が入った。つまり、企業がこの三つの国籍の求職者に対してアピールを行う場合、これらの要素を強調することは無難であろう。

逆にいうと、「会社のブランド」と「会社規模」がどの国籍においても回答率が低かったことも強調したい。田村、石井、ツェン（2019）¹⁷の調査によると、日本国内の外国人が働きたい会社においては、外資系志向・大手志向の傾向が見られたことに対して、国外の外国人はその傾向が弱いということは興味深い。考察するに、個々の会社のブランドや規模ではなく、「日本」というブランドそして「日本経済」の規模の方を意識しているため、日本に行けば会社の規模などはそれほど重要ではないという理屈が働いているかもしれない。一方で、中小企業でも、国外の外国人に対して十分アピールできることも伺える。

一方で、インドの回答では「研修の機会」が2番目に高い回答率を占めるまで、高くつけられたことが特徴的である。その反面、中国の「研修の機会」はインドの半分前後であった。国によって、日本で行われている研修が「ためになるか」について、意見が分かれていることがわかる。

複数選択となって、最重要要素の部分の結果において、最も高い解答率を得られた選択肢の中でも、国籍間のバラツキが見られた。全体的に最も回答率が高かった「給料」において、中国からの回答率がインドのその3倍になることが目についた。

それぞれの国の傾向性を見ると、インドでは、「仕事内容」が1位、キャリアアップの可能性が3位、そして「研修の機会」が4位だったことから、「仕事を通じて自分のキャリアの発展性」を重視していると考えうる。逆にいうと着任した当初の給与は複数選択の時には考慮するには考慮するが、最重要の理由ではないことがわかった。

ベトナムに関しては、「労働環境」が複数選択においても、単一選択においても最も回答率が高かったことから、職場の環境に対する感度が高いことがわかる。これは、表8、9において「日本で働きたくないことについての理由」における「差別を受ける可能性」との関連性が伺える。つまり、日本で働くことによって差別されることが懸念され、給料も重要だけど、とりあえず差別をされない労働環境の方を重視するという傾向が見られる。

また、中国に関しては「給料」に対する重視が、複数選択・最重要要素の両方で高かった。表6での日本で働くことについての魅力点において、「日本で働くことがキャリアアップにつながる」という回答が少なく、長期的な発展ではなく、入社した時点の給料を重視するという可能性が伺える。

17

<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19020003.html#:~:text=%E4%B8%80%E6%8B%AC%E3%83%80%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%89%20%5BPDF%3A6.2MB%5D>

6-13. 日本の、他の選択肢の中に比べての優位性に関して

また、日本だけではなく、働くことにおいては他の国に行くことも検討しているかの質問も設けた。その結果を下記の図 19 に表す。

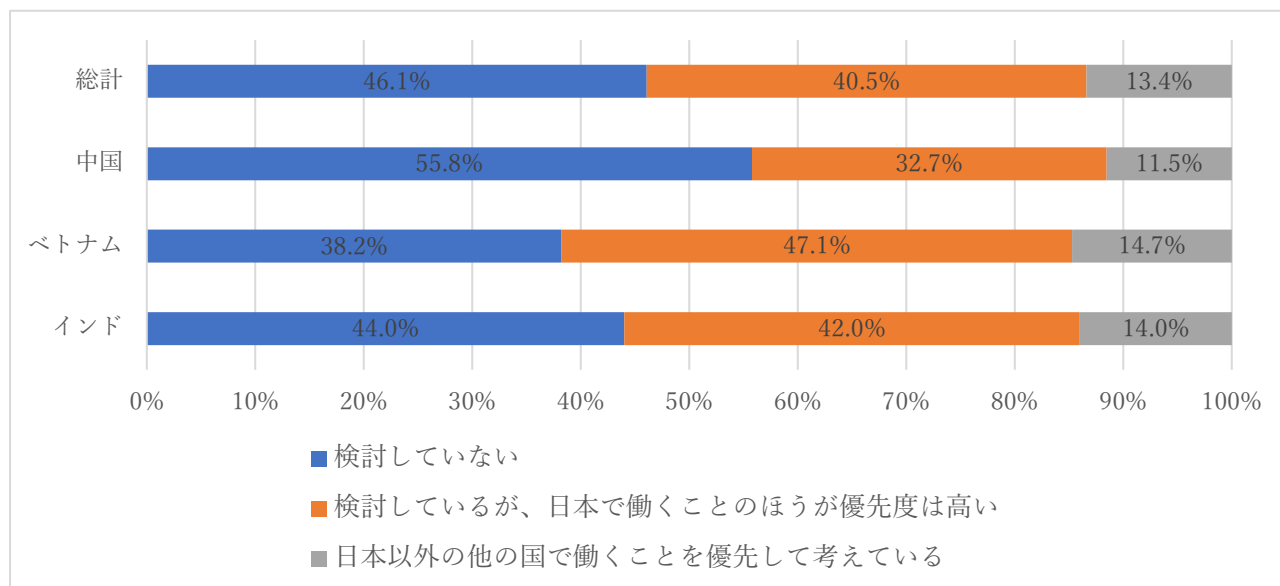


図 19：国籍別、日本以外の海外で働くことを検討しているか？

また、実際どの国で働こうと思っているかについての質問を、自由記入式で質問した。その自由記入を解析して集計し、10回以上挙げているの回答選択肢その結果は下記の表で表す。参考に、上記の質問において、「検討しているが、日本で働くことの方が優先度が高い」と「日本以外の他の国で働くことを優先して考えている」と回答した人数は全体の 53.9%である 165 人であった。

表 19：検討している他国（10 回答以上のもののみ表示）

1	アメリカ	36
2	シンガポール	21
3	オーストラリア	19
4	韓国	15
5	イギリス	14
6	中国（*中国人回答除く）	11
7	カナダ	11

まず、こちらで要注意なのは、「本国に残る」ことは選択肢の中に入れていないことである。つまり、こちらの結果は、回答者の中で、他の海外に比べての日本の相対的な優位性を表すでしかない。ただし、前述の図 10 において、「どちらかという、日本で働きたいと思っていない」と「日本で、働きたいと全く思っていない」と回答した比率はベトナムとインドでは 1 割、そして中国ではおおよそ 4 分の 1 だったこともあ

り、つまり図19の結果は「選択肢があれば、大多数が日本で働くことを選ぶだろう」という人による回答と考えられる。

その観点で、どの国籍においても、日本以外の国外に行くことを優先的に考えている比率は1割強に留まった。つまり、回答者のほとんどは他の国へ行く選択を手に入れたとしても日本に来ようとする意向が見える。

ただ、その中で「検討していない」が過半数を超えた国は唯一、中国であった。こちらは、以前の回答による「消極性」とは少々印象が異なっている。確固たる説明はないが、たとえばコロナ禍において欧米へ行くことに対しては消極的になった、などが考えられる。

そして検討している国は、英語圏の国の多さが明確だ。英語が通じるインドからのみでなく、どの国籍からの回答でも英語圏が多く挙げられた。ただ、目に付く国籍間の差としては一点、6番目にある「中国」についてである。回答者は、中国からの回答を除いた数値であり、11名はインドではなく、隣国のベトナムからの回答だった。

6-14. コロナ禍による影響

また、最後にそれぞれの国の回答者が、日本に来ようとする気持ちにコロナ禍がどのように影響したかを聞いた質問も設けた。その結果を下に表す。

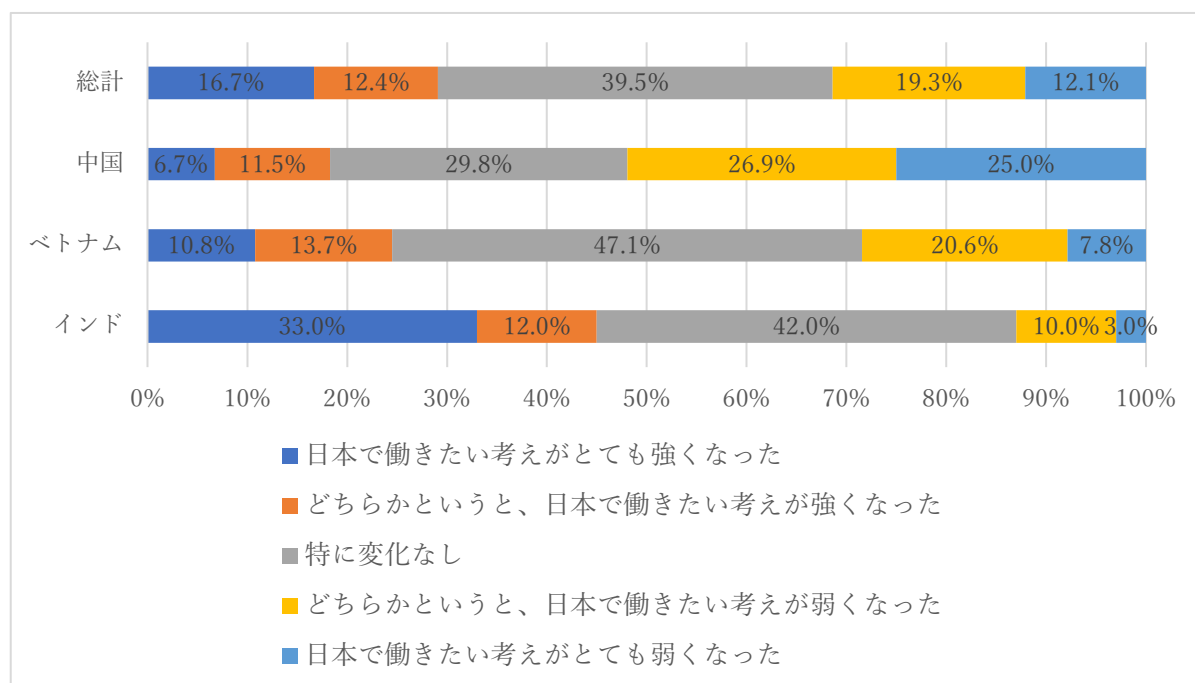


図 20 : コロナ禍を通じて、日本で働こうと思った気持ちの変化

ご覧の通り、3カ国の結果を合計して分析するのであれば、日本で働こうとする気持ちは、3カ国全体でいうと、来日する気持ちが強まった人と弱まった人の割合はそれぞれ3割前後だった。ただし、国別の傾向は大差があった。

インドでは、来日する意欲が強まった人は全体の4割5分、また三分の一が「とても強まった」と報告していることに対し、中国では半数強が来日する考えが弱まったと報告している。ベトナムに関しては、「強まった」と報告している人は4分の3前後で、「弱まった」と報告している人が3割弱だったなので、「弱まった」と回答した人が若干多かったが、大差は見られなかった。

実際、コロナ化による影響を問う質問はこちらの1問に過ぎず、より深い研究が必要であるが、コロナ禍において、日本が「うまくコントロールできている国」というふうに解釈し、来日する気持ちが強まる可能性がある一方、水際対策の厳しさ、特に中国から見て「それほどコントロールに成功していない」ゆえに気持ちが弱まる可能性もある。また、本国の経済が弱まり、したがって経済的な理由で日本に来ようとする気持ちが強まるという可能性もある。いずれにせよ、本調査を実施したのは、2021年12月21日から2022年5月2日であり、まだコロナ禍の水際対策やロックダウンが日本初め各国で実施されている期間で、完全にコロナ禍が終了していない状況であったことも留意する必要がある。

コロナ禍を経て、在外外国人だけでなく全世界の日本語学習者の日本に対する意識に、どのような変化が生じているのか、究めるためにはより一層詳しい調査が必要であるが、「コロナ禍における日本」に対する眼差しは国によって大きく異なることがこちらの結果がわかる。

7. 全体の考察

調査結果の数値上の記述を終え、次は各国間の差を、それぞれの国の状況に照らして推測する。まず、そのためには、下記の表にて、それぞれの国の統計と、今回の調査の属性データの一部をまとめた。

表 20：各国の統計・日本との比較

	インド	ベトナム	中国	(参考) 日本
日本における在住人数 ¹⁸				
2021年、6月末時点、日本在留者数 (名)	36,777	450,046	745,411	-
2016年、6月末時点、日本在留者数 (名)	27,592	175,744	677,571	-

¹⁸ 政府の e-Stat での発表より。 https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00250012&tstat=000001018034&cycle=1&tclass1=000001060399&cycle_facet=tclass1&tclass2val=0

当該国籍の在留人数の増減（名） （2021年人数 - 2016年人数）	+9,185	+274,302	+67,840	-
経済発展度				
一人当たり名目国内総生（GDP） ¹⁹ (USD、2021年取得)	\$2,277	\$3,694	\$12,556	\$39,285
日本の値を各国で割った時の倍率	17.25	10.63	3.12	-
コロナに関する状況				
2021年12月31日時点、人口100万人あたりコロナ陽性者延人数 ²⁰ （名）	25019	17636	80	13743
調査における日本語能力				
回答者のなかに、N2以上の日本語能力保持者の比率	45.0%	41.2%	72.1%	-

上記のデータまとめに基づいて、下記の状況をより一層簡潔にまとめると、各国の差を下記にまとめられる。

表 21：表 18 に基づいて比較した際の各国特徴

	インド	ベトナム	中国
日本内のコミュニティのサイズ	小	大	大
日本内のコミュニティの存続期間	短	短	長
日本との経済発展度の差	大	大	中
日本で就職する言語上の障壁	大	大	小
コロナ禍のハンドリングにおいて、日本の本国との相対的「成功度」	失敗	大差なし ²¹	成功

上記に基づいてそれぞれの国の特徴を説明してみたい。

7-1. 中国

まず、本分析において、日本で働くことについて中国からの回答者の相対的な「消極性」がみられた。日本語の壁が低いため、本当は他の国籍より日本で就職しやすいと思われるものの、図 10 で見られた、3割近くの回答者が日本で働くことに興味がないと回答していた。そして、懸念要素として、日本企業の社風が合わない、日本で働くことがキャリアアップにはつながらないことを挙げていた。

¹⁹ 世界銀行から取得。 https://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.PCAP.CD?most_recent_value_desc=true

²⁰ 札幌医科大学医学部 附属フロンティア医学研究所 ゲノム医科学部門まとめ。
<https://web.sapmed.ac.jp/canmol/coronavirus/index.html>

²¹ 人口あたり感染者数において、ベトナムはコロナ禍開始以降日本よりは低い数値だったが、2021年12月に日本の感染数値を初めて超え、以降拮抗。そのため、大差なしと記載。

これは、日本国内に既にある中国人コミュニティの大きさ及び成熟度によって説明できる。まず、日本に既に相当数の中国人が生活していることは、人数からわかる。その中には仕事をしている方も多し。それによって、一部の職種における飽和が見られ、例えば、中国からの回答者による希望職種における「翻訳・通訳」の低さ（表14参照）がこちらの現象を表していると思われる。

一方で、それによって、国外にいる日本語学習者は、長らく日本で働いている同国籍の人からの話を聞く機会は、他の2つの国籍の回答者より多いと思われる。したがって、キャリア構築についての困難などを日本で既に働いている人から聞いているからこそ、全体的な消極性につながったと思われる。一人当たりGDPにおいて、日本は中国の3.1倍であっても、毎年その差はだんだん縮まっており、一定数の人にとって経済的な観点で日本はそれほど魅力的ではなくなっていると思唆できる。

もう一つの要素を挙げるのであれば、コロナ禍による影響である。実際、日本で働きたくないと思った理由の自由解答の中に、「コロナの状況が劣悪」といった回答が見られ、少なくとも一部の回答者は日本における新型コロナウイルスの蔓延状況を好ましく見ていない可能性があった。それによって、国外ではなく、中国に残ろうとする心理は一部の人に効いた可能性がある。

7-2. ベトナム

次に、中国に比べて、日本と経済発展度の差が大きく開いているベトナムである。このような背景から、日本での稼ぎの魅力は、中国の回答者に比べて感じやすいだろう。こちらは表6の結果でも見られ、「給与が高い」と回答した割合が他の国の2倍前後になったことからわかる。

一方で、「差別」に対する懸念が強いことが表8,9でわかり、また表10でもあったように、「多様性を受け入れている」という回答率が他の国よりもやや低い。これが表15,16にある「労働環境」への重視にも影響しているのであろう。

察するに、ベトナムは中国と同じく、日本国内で既に相当サイズのコミュニティがある。ただ、その一方で中国のコミュニティと異なり、近年来日した人の割合も多いため、当該コミュニティの中には長く日本にいて、キャリアを構築した人はそれほどいないと考える。したがって、本国に伝わっている懸念要素は中国では社風やキャリアの発展性である一方、ベトナムでは差別や労働環境についての問題に収斂したかもしれない。また、このような懸念を持つ背景として、中国と比較すると、技能実習及び特定技能ビザにて在留するベトナム人比率が多いことも影響しているのかもしれない。

7-3. インド

経済水準はベトナムと大差はないが、対照的な結果を出しているのはインドからの回答者であった。インドからの回答者は他の国に比べて日本で働こうとする意識、日本企業に対する肯定的なイメージなどにおいて、他の2カ国に比べてポジティブな回答をしている。

もし、前述したベトナム、そして中国についての考察、先人による影響という仮説が正しいとしたら、インドからの回答に表れている傾向性は「先人があまりないから」と考えうる。つまり、今現在の時点で、インド人から見た日本は、ある意味機会に満ちているが、もし日本で働くインド人が増え、就職しやすい職種や業種の飽和が見られ、そしてインド在住者が日本在住のインド人による「生の体験」を聞く機会が増えたら、インドからの回答はベトナムや中国からの回答に近づいていくかもしれない。

一方で、インドからの回答者は、他の二つの国の回答者に比べ、社会的な階層が高い可能性がありうる。そもそも、本アンケートは、インド在住者に英語で実施されている。インドにおいて英語に堪能の人は人口の1割前後にとどまる²²。つまり、今回の調査の回答者は、インドの中で高学歴・高収入になりうる層である可能性があり、インドの国平均からなっている一人当たり名目国内総生産は今回の調査にあたって回答した層の実際の経済水準を表していない可能性がある。実際、インドはベトナム以上に国として日本との経済発展度に乖離があったものの、本アンケートの回答者における日本の魅力点として「給与が高い」の解答率は、ベトナムより低いことがその理由ではないだろうか。

もう一つの特徴として、インドからの回答者は、日本に「働きに来る」のではなく「事業をするために来る」という側面が挙げられる。図17でも見られたように、インドからの回答の4割は「経営・管理業務」を希望職種として挙げていることがわかる。また、業種の質問においても、文系卒の人でも高割合で「情報処理・通信技術」を回答したことは、他の二つの国籍と異なっており、自分の務める仕事と勤め先の業種が異なる可能性も意識していることがわかる。年齢層が他の2つの国籍より高いということが説明要素かもしれないが、インドからの回答者の特徴は、ひょっとしたら個人として仕事するよりは、事業の展開性として日本を評価しているのかもしれない。

8. 全体で考えうる傾向性

以上の考察から、インド、ベトナム、中国の3カ国の状況をケーススタディーとして、いくつかの結論をつけることができる。

まず初めに、経済発展度の差の重要性は、ベトナムと中国の結果の違いでわかった。ベトナムと中国ではそれぞれ日本で働くことについて異なる懸念要素があるが、ベトナムからの回答者の方が、まだ相対的に日本で働くことを前向きに考えていることの裏付けとして、日本で働くことによって所得増加が見込めることが動機として存在すると言える。逆にいうと、全ての国において、日本との経済発展度の差が縮まれば縮まるほど、所得の差だけでは懸念要素の不安を払拭できなくなる。

また、日本国内のコミュニティの成熟度による影響は、インドとその他の2カ国の回答における傾向性の違いにもうかがえる。ベトナムも然りであるが、コミュニティが長く存在する中国人の間で、日本で働く体験談などが本国に伝わりやすい。そして、その中には一部ネガティブなエピソードも含まれている。これ

²² <https://www.bbc.com/news/magazine-20500312>

が伝わることによって、本国にいる日本語学習者に懸念要素が生じる。また、同国籍の既存コミュニティが大きくなるにつれ、当該国籍の希少性が減り、働く機会が減るという連鎖が生じる可能性がある。一方で、インドの「積極性」は、ある意味ネガティブなエピソードが本国へ伝わる機会がまだ少なく、且つ現時点でインド人の日本国内の労働市場における「飽和」が見られないからである。ただ、もし日本で仕事をするインド人が増えたら、インドからの回答は、もしかしたら中国やベトナムからの回答に近づくかもしれない。

9. 終わりに

今回の調査は、あくまで3つの国の日本語学習者を取り上げているに過ぎないが、今回の調査結果からわかったことは、3つの国で共通点もあれば、大きい違いもあるということであった。

それぞれの国における「日本で働くこと」に対する考え方につながるモノサシは、「経済発展度」、「日本国内におけるコミュニティの成熟度」などの要素が影響していると思われる。これらの仮説を検証するには、他の国籍の調査も行う必要がある。

一方で、差別や日本の企業文化に対する懸念という共通点は、本調査でも明らかになっている事実であり、日本で働く外国人を増やしていくためには、日本側で改善を働きかけるべき課題であると言える。

いずれにせよ、今回の調査を通じて、それぞれの国が持つ日本に対する意識の違い、そして延長線上にある全世界の日本語学習者に対する理解を深める機会となり、それぞれ人たちが日本に来たいと思う動機に日本が働きかけたり、実際に来日した後の満足度を高めるために日本が取り組むべき必要なことを今後検討する上で役に立てたら幸いだと思う。

10. 付録1：質問表

日本語	英語	中国語	ベトナム語
あなたの国籍（あるいは出身地域）を教えてください	Please indicate your nationality.	请选择你的国籍（或地区）	Xin cho biết quốc tịch của bạn
中国	Chinese	中国	Trung Quốc
ベトナム	Vietnamese	越南	Việt Nam
インド	Indian	印度	Ấn Độ
その他（具体的にご記入ください）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Khác (vui lòng điền cụ thể)
あなたの性別を教えてください	Please indicate your gender.	请选择你的性别	Xin cho biết giới tính của bạn
男性	Male	男性	Nam
女性	Female	女性	Nữ
その他	Others	其他	Khác
あなたの2022年1月1日時点での年齢を教えてください	Please indicate your age as of 1st Jan 2022	请选择你在2022年1月1日时的年龄	Xin cho biết số tuổi của bạn tính từ ngày 1 tháng 1 năm 2022
19	19 years old	19	19
20	20 years old	20	20
21	21 years old	21	21
22	22 years old	22	22
23	23 years old	23	23
24	24 years old	24	24
25	25 years old	25	25
26	26 years old	26	26
27	27 years old	27	27
28	28 years old	28	28
29	29 years old	29	29
30	30 years old	30	30
31	31 years old	31	31
32	32 years old	32	32

33	33 years old	33	33
34	34 years old	34	34
35	35 years old	35	35
36	36 years old	36	36
37	37 years old	37	37
38	38 years old	38	38
39	39 years old	39	39
40 歳以上	Above 40 years old	40 岁以上	40 tuổi trở lên
あなたの現在の状態を教えてください	Which of the following best describes you?	请告知我们你目前的从业状态	Nghề nghiệp hiện tại của bạn là gì?
未就業者 (学生)	Student / Not yet in employment	无业 (学生)	Chưa đi làm (học sinh)
社会人	Working adult	有工作	Đang đi làm
不就労者	Unemployed	无业	Thất nghiệp
その他	Others	其他	Khác
(学生) 今在籍している学位を教えてください。 (学生以外) 最後に卒業した学位を教えてください	(For students) Please choose the course that you are currently enrolled in (For non-students) Please choose your highest academic qualification	(学生) 请选择你目前正在攻读的学位。 (非学生) 请选择你的最终学位。	(Học sinh) Xin chọn học vị hiện tại của bạn (Không phải học sinh) Xin chọn học vị cuối cùng sau khi bạn tốt nghiệp
専門学校卒業	Specialist school / Technical college	专科学校毕业生	Tốt nghiệp Cao đẳng/ Nghề
大学卒業	Bachelors	大学本科	Tốt nghiệp Đại học
修士、あるいは大学院 (前期) 卒業	Masters	硕士	Tốt nghiệp Thạc sĩ
博士、あるいは大学院 (後期)、単位満了退学あるいは卒業	PhD (or PhD withdrawal after completing credits)	博士或满期单位修了退学	Tốt nghiệp Tiến sĩ (hoặc đã lấy đủ chứng chỉ thôi học)
その他 (具体的にご記入ください)	Others (Please specify)	其他 (请具体说明)	Khác (vui lòng điền cụ thể)
(学生) 今在籍している研究科・学部の専攻に最	(For students) Which of these best	(学生) 请选择与你目前正在就读的专业最接近的一项	(Học sinh) Xin chọn một khoa và chuyên

<p>も近いものを一つ選んでください。</p> <p>(学生以外) 最終学歴の研究科・学部の専攻に最も近いものを一つ選んでください。</p>	<p>describes your current course?</p> <p>(For non-studnets)</p> <p>Which of these best describes what you studied for your last academic qualification?</p>	<p>(非学生) 请选择与你最终学历的专业最接近的一项</p>	<p>ngành gần nhất mà bạn đang học</p> <p>(Không phải học sinh)</p> <p>Xin chọn một khoa và chuyên ngành gần nhất với học vị cuối cùng của bạn</p>
<p>どちらかというと、社会科学に近い (Social sciences / Humanities)</p>	<p>Social sciences and humanities</p>	<p>社会科学/人文学科</p>	<p>Khoa học xã hội và nhân văn</p>
<p>どちらかというと、自然科学に近い (Natural sciences and engineering)</p>	<p>Natural sciences, engineering and mathematics</p>	<p>自然科学和工程学</p>	<p>Khoa học tự nhiên</p>
<p>その他 (具体的にご記入ください)</p>	<p>Others (Please specify)</p>	<p>其他 (请具体说明)</p>	<p>Khác (vui lòng điền cụ thể)</p>
<p>3ヶ月未満の滞在を除き、日本での累計滞在経験を教えてください</p>	<p>Excluding periods shorter than 3 months, how long have you lived in Japan in total until now?</p>	<p>请告诉我们你在日本的滞在时长，不足3个月除外</p>	<p>Không tính thời gian ngắn hơn 3 tháng, tổng cộng bạn đã sống ở Nhật bao lâu?</p>
<p>滞在経験なし (旅行経験なし)</p>	<p>I have never been to Japan</p>	<p>无滞在经历 (无旅行经历)</p>	<p>Không có kinh nghiệm (chưa từng đi du lịch Nhật Bản)</p>
<p>滞在経験なし (旅行経験あり)</p>	<p>I have visited Japan but have never lived there</p>	<p>无滞在经历 (有旅行经历)</p>	<p>Không có kinh nghiệm (đã từng đi du lịch Nhật Bản)</p>
<p>3ヵ月以上6ヵ月未満</p>	<p>For 3 months or more but less than 6 months</p>	<p>超过3个月但少于6个月</p>	<p>Từ 3 đến 6 tháng</p>
<p>6ヵ月以上1年未満</p>	<p>For 6 months or more but less than a year</p>	<p>超过6个月但少于1年</p>	<p>Từ 6 tháng đến 1 năm</p>
<p>1年以上2年未満</p>	<p>For 1 year or more but less than 2 years</p>	<p>1年以上但少于2年</p>	<p>Từ 1 năm đến 2 năm</p>
<p>2年以上3年未満</p>	<p>For 2 years or more but less than 3 years</p>	<p>超过2年但少于3年</p>	<p>Từ 2 năm đến 3 năm</p>

3年以上4年未満	For 3 years or more but less than 4 years	超过3年但少于4年	Từ 3 năm đến 4 năm
4年以上5年未満	For 4 years or more but less than 5 years	4年以上但少于5年	Từ 4 năm đến 5 năm
5年以上6年未満	For 5 years or more but less than 6 years	5年以上但少于6年	Từ 5 năm đến 6 năm
6年以上	More than 6 years	6年以上	Từ 6 năm trở lên
あなたの日本語力について最も当てはまるものを一つ選んでください。	Which of the following best describes your Japanese ability?	请选择最能说明你日语能力的一项	Xin hãy chọn trình độ tiếng Nhật đúng nhất với bạn
基礎レベル以下	Beginner or below	低于基本水平	Từ trình độ cơ bản trở xuống
日常会話レベル（日本語能力検定3級レベル）	Conversational (Around JLPT N3)	日常会話水平（日语能力测试3级）	Trình độ giao tiếp hàng ngày (Năng lực nhật ngữ JLPT - N3)
大学で受講できるレベル（日本語能力検定2級レベル）	Able to understand university lectures (Around JLPT N2)	大学水平（日本語能力测试2级）	Trình độ có thể học đại học (Năng lực Nhật ngữ JLPT - N2)
ビジネスレベル（日本語能力検定1級レベル）	Business and above (JLPT N1 and above)	商务水平（日本語能力测试1级）	Trình độ thương mại, dùng trong kinh doanh (Năng lực Nhật ngữ JLPT - N1)
あなたが日本語を勉強した期間を教えてください	How long have you been studying Japanese?	请告诉我们你学习日语有多长时间了	Xin cho biết thời gian học tiếng Nhật của bạn?
6ヶ月未満	Less than 6 months	不到6个月	6 tháng
6ヵ月以上1年未満	For 6 months or more but less than a year	超过6个月但少于1年	Từ 6 tháng đến 1 năm
1年以上2年未満	For 1 year or more but less than 2 years	1年以上但少于2年	Từ 1 năm đến 2 năm
2年以上3年未満	For 2 years or more but less than 3 years	超过2年但少于3年	Từ 2 năm đến 3 năm
3年以上4年未満	For 3 years or more but less than 4 years	超过3年但少于4年	Từ 3 năm đến 4 năm
4年以上5年未満	For 4 years or more but less than 5 years	4年以上但少于5年	Từ 4 năm đến 5 năm

5年以上6年未満	For 5 years or more but less than 6 years	5年以上但少于6年	Từ 5 năm đến 6 năm
6年以上	More than 6 years	6年以上	Từ 6 năm trở lên
あなたは日本で生活したいと思いますか？	How do you feel about *living* in Japan	你愿意在日本生活吗？	Bạn có muốn sống tại Nhật Bản không?
日本で、生活したいと強く思う。	I strongly want to live in Japan	非常希望在日本生活	Tôi hoàn toàn muốn sống tại Nhật Bản
どちらかという、日本で生活してみたいと思う。	I somewhat want to live in Japan	希望在日本生活	Tôi muốn thử sống tại Nhật Bản
どちらかという、日本で生活したいとは思わない。	I don't really want to live in Japan	不希望在日本生活	Tôi không muốn sống tại Nhật Bản
日本で、生活したいと全く思わない。	I do not want to live in Japan at all	非常不愿意在日本生活	Tôi hoàn toàn không muốn sống tại Nhật
あなたは日本で働きたいと思いますか？	How do you feel about *working* in Japan	你希望在日本工作吗？	Bạn có muốn làm việc tại Nhật Bản không?
日本で、働きたいと強く思う。	I strongly want to work in Japan	非常希望在日本工作	Tôi hoàn toàn muốn làm việc tại Nhật Bản
どちらかという、日本で働いてみたい。	I somewhat want to work in Japan	希望在日本工作	Tôi muốn thử làm việc tại Nhật Bản
どちらかという、日本で働きたいとは思っていない。	I don't really want to work in Japan	不希望在日本工作	Tôi không muốn làm việc tại Nhật Bản
日本で、働きたいとは全く思わない。	I do not want to work in Japan at all	非常不希望在日本工作	Tôi hoàn toàn không muốn làm việc tại Nhật Bản
日本で働きたい理由を下記の中に*該当するもの全て*を選びください	Please select *all* the reasons for why you want to work in Japan	请选择所有你想在日本工作的理由（多选）	Xin chọn *những lý do* vì sao bạn muốn làm việc tại Nhật Bản dưới đây
母国と日本をつなげる仕事 がしたい	I want to do work which bridges my home country and Japan	希望从事连接祖国和日本的工作	Tôi muốn làm công việc kết nối giữa nước tôi và Nhật Bản
日本で働くことで学べる ことがある	There are things I can learn by working in Japan	通过在日本工作，可以学到一些东西	Làm việc tại Nhật Bản có thể giúp tôi học tập

日本で暮らしたい	I want to live in Japan	希望在日本生活	Tôi muốn sinh sống tại Nhật Bản
日本で働くことがキャリアアップにつながる	Working in Japan will boost my career	在日本工作更有职业发展	Làm việc tại Nhật Bản có thể giúp tôi phát triển sự nghiệp
日本で興味がある分野の仕事ができる	By working in Japan, I will be able to work in a field I am interested in	在日本可以从事感兴趣的领域的工作	Tại Nhật tôi có thể làm việc trong lĩnh vực mà tôi yêu thích
日本での給料が高いと思うため	I think that salaries are high in Japan	认为日本的工资很高	Vì tôi nghĩ thu nhập tại Nhật Bản cao
日本の企業文化が自分に合いそうだから	I think Japanese working culture will fit me	日本の企业文化很适合我	Văn hóa làm việc tại công ty Nhật Bản hợp với tôi
本国でのキャリア構築が困難であるため	It is difficult to build a career in my home country	在祖国很难建立自己的事业	Tôi khó có thể phát triển sự nghiệp tại nước tôi
日本に家族がいるから	I have family in Japan	因为我有家人在日本	Vì tôi có gia đình tại Nhật Bản
その他（具体的にご記入ください）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Lý do khác (vui lòng điền cụ thể)
該当しない	Not applicable	无合适选项	Không lý do nào ở trên
日本で働きたい*最も重要な要因*を一つ選んでください	Of these, choose the *most important* factor for why you want to work in Japan	请选择你在日本工作的理由中最重要的一个	Xin chọn *một lý do chính* vì sao bạn muốn làm việc tại Nhật Bản
母国と日本をつなげる仕事をしたい	I want to do work which bridges my home country and Japan	希望从事连接祖国和日本的工作	Tôi muốn làm công việc kết nối giữa nước tôi và Nhật Bản
日本で働くことで学べることがある	There are things I can learn by working in Japan	通过在日本工作，可以学到一些东西	Làm việc tại Nhật Bản có thể giúp tôi học tập
日本で暮らしたい	I want to live in Japan	希望在日本生活	Tôi muốn sinh sống tại Nhật Bản
日本で働くことがキャリアアップにつながる	Working in Japan will boost my career	在日本工作更有职业发展	Làm việc tại Nhật Bản có thể giúp tôi phát triển sự nghiệp

日本で興味がある分野の仕事ができる	By working in Japan, I will be able to work in a field I am interested in	在日本可以从事感兴趣的领域的工作	Tại Nhật tôi có thể làm việc trong lĩnh vực mà tôi yêu thích
日本での給料が高いと思うため	I think that salaries are high in Japan	认为日本的工资很高	Vì tôi nghĩ thu nhập tại Nhật Bản cao
日本の企業文化が自分に合いそうだから	I think Japanese working culture will fit me	日本の企业文化很适合我	Văn hóa làm việc tại công ty Nhật Bản phù hợp với tôi
本国でのキャリア構築が困難であるため	It is difficult to build a career in my home country	在祖国很难建立自己的事业	Tôi khó có thể phát triển sự nghiệp tại nước tôi
日本に家族がいるから	I have family in Japan	因为我有家人在日本	Vì tôi có gia đình tại Nhật Bản
その他（具体的にご記入ください）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Lý do khác (vui lòng điền cụ thể)
該当しない	Not applicable	无合适选项	Không lý do nào ở trên
日本で働きたくない理由を下記の中に*該当するもの全て*を選びください	Please select *all* the reasons for why you *do not* want to work in Japan	请选择所有你不想在日本工作的原因（多选）	Xin chọn *những lý do* vì sao bạn không muốn làm việc tại Nhật Bản
日本で働くことに興味はない	I have no interest in working in Japan	对在日本工作不感兴趣	Tôi không có hứng thú làm việc tại Nhật Bản
母国で働くほうがキャリアアップになるため	Working in my home country will be better for my career	因为在祖国工作会对事业更有利	Làm việc tại nước của tôi có thể phát triển sự nghiệp tốt hơn
日本で暮らしたくないため	I don't want to live in Japan	因为不想住在日本	Vì tôi không muốn sống tại Nhật Bản
日本の給料が高いとは思えないため	I do not think that salaries are high in Japan	因为日本的工资对我没有吸引力	Vì tôi không nghĩ thu nhập tại Nhật Bản là cao
家族の同意が得られないため	I cannot get the approval of my family	因为不能得到家人的同意	Vì tôi không được sự chấp thuận từ gia đình
日本の企業文化が自分に合わないと思うため	I do not think that Japanese working culture will fit me	因为日本的企业文化不适合我	Vì văn hóa làm việc tại công ty Nhật không phù hợp với tôi

日本に対するイメージがよ くないため	I do not have a good impression of Japan	因为对日本的印象并不好	Vì tôi không có ấn tượng tốt về Nhật Bản
差別を受ける可能性がある	Because I may get discriminated against	因为有可能存在歧视	Có thể bị phân biệt đối xử
その他（具体的にご記入く ださい）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Lý do khác (vui lòng điền cụ thể)
該当しない	Not applicable	无合适选项	Không lý do nào ở trên
Of these, choose the *most important* factor for why you *do not* want to work in Japan			
日本で働きたくない*最 も重要な要因*を一つ選 んでください。		请选择你不想在日本工作 的原因中最重要的一个	Xin chọn *một lý do chính* vì sao bạn không muốn làm việc tại Nhật Bản
日本で働くことに興味はな い	I have no interest in working in Japan	对在日本工作不感兴趣	Tôi không có hứng thú làm việc tại Nhật Bản
母国で働くほうがキャリア アップになるため	Working in my home country will be better for my career	因为在祖国工作会对事业更 有利	Làm việc tại nước của tôi có thể phát triển sự nghiệp tốt hơn
日本で暮らしたくないため	I don't want to live in Japan	因为不想住在日本	Vì tôi không muốn sống tại Nhật Bản
日本の給料が高いとは思え ないため	I do not think that salaries are high in Japan	因为日本的工资对我没有吸 引力	Vì tôi không nghĩ thu nhập tại Nhật Bản là cao
家族の同意が得られないた め	I cannot get the approval of my family	因为不能得到家人的同意	Vì tôi không được sự chấp thuận từ gia đình
日本の企業文化が自分に合 わないと思うため	I do not think that Japanese working culture will fit me	因为日本的企业文化不适合 我	Vì văn hóa làm việc tại công ty Nhật không phù hợp với tôi
日本に対するイメージがよ くないため	I do not have a good impression of Japan	因为对日本的印象并不好	Vì tôi không có ấn tượng tốt về Nhật Bản
差別を受ける可能性がある	Because I may get discriminated against	因为有可能存在歧视	Tôi có thể bị phân biệt đối xử
その他（具体的にご記入く ださい）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Lý do khác (vui lòng điền cụ thể)
該当しない	Not applicable	无合适选项	Không lý do nào ở trên

日本企業のイメージについて教えてください	How much do you agree about the following.	请告诉我们你对日本公司的印象	Xin hãy cho biết ấn tượng của bạn về công ty Nhật Bản
(項目)			
教育環境が充実している	Japanese companies have strong training programs	充实的教育环境	Môi trường giáo dục và đào tạo nhân viên tốt
柔軟性がある	Japanese companies are flexible	有灵活性	Tính linh hoạt cao
チームワークを重要視している	Japanese companies value teamwork	强调团队合作	Đề cao tinh thần làm việc nhóm
初任給が高い(働き始めた年の年収)	Japanese companies have high starting pay (annual pay at point of entering)	高起薪(开始工作当年的年薪)	Mức lương khởi điểm cao (lương tính từ năm đầu tiên đi làm)
平均年収が高い(40歳の平均年収)	Japanese companies have high average pay (annual pay at age 40)	平均年薪高(40岁的人的平均年薪)	Thu nhập trung bình hàng năm cao (thu nhập trung bình hàng năm năm 40 tuổi)
福利厚生が充実している	Japanese companies have strong employee welfare systems	良好的福利待遇	Phúc lợi xã hội tốt
海外事業を積極的に行っている	Japanese companies are actively expanding overseas	积极参与海外业务	Nhiều hoạt động kinh doanh ở nước ngoài
多様性を受け入れている	Japanese companies accept diversity	对多样性持开放态度	Sự chấp thuận trong đa dạng văn hóa công sở
労働時間が長い	Japanese companies have long working hours	工作时间长	Số giờ làm việc dài
キャリアの発展性がある	Japanese companies have good career growth prospects	职业发展很好	Có tiềm năng phát triển sự nghiệp
成長している企業が多い	There are many Japanese companies that are growing	许多公司正在增长	Nhiều công ty đang trên đà phát triển
伝統を重要視している	Japanese companies value tradition	重视传统	Coi trọng tính truyền thống
新しいものを生み出している	Japanese companies are innovating new things	有创新性	Tính sáng tạo

上下関係が厳しい	Japanese companies have strict hierarchies	等级制度严格	Nghiêm khắc trong mối quan hệ giữa cấp trên và cấp dưới
実力よりも会社や上司への忠誠心の方が重要	Japanese companies value loyalty over skills and productivity	与能力相比, 对公司和上司的忠诚的更重要	Lòng trung thành đối với công ty và cấp trên quan trọng hơn khả năng làm việc
仕事終わりで職場の人と食事やお酒を飲むことが多い	Colleagues in Japanese companies often eat and drink together after work	在工作之余同事们时常聚餐	Thường xuyên đi ăn uống với đồng nghiệp sau giờ làm
(選択肢)			
そう思う	I strongly agree	同意	Hoàn toàn đồng ý
どちらかという、そう思う	I somewhat agree	有点同意	Đồng ý
どちらかという、そう思わない	I somewhat disagree	有点不同意	Không đồng ý
そうは思わない	I strongly disagree	不同意	Hoàn toàn không đồng ý
日本で就職することの困難について教えてください (複数選択可能)	What are the challenges that you face in job-hunting for Japan? (Please select all applicable options)	请告诉我们在日本就业的困难 (多选)	Xin hãy cho biết những khó khăn của bạn khi làm việc tại Nhật Bản (bạn có thể chọn nhiều hơn 1 đáp án)
日本語が難しい	The Japanese language is difficult	日语很难	Rào cản tiếng Nhật
専門知識やスキルが必要なレベルに達していない	I do not have the required skill / expertise level	专业知识和技能水平达不到要求的水平	Tôi không đạt được kỹ năng và kiến thức chuyên môn yêu cầu nhất định
生活コストが高い	Japan's living expenses are expensive	生活成本很高	Chi phí sinh hoạt cao
求人情報を見つけることが難しい	I find it hard to find job information	难以找到工作	Khó tìm được thông tin xin việc
ビザの仕組みがわからない	I do not understand how visas in Japan work	签证相关的知识不足	Tôi không hiểu cách thức xin visa

家族の同意	I cannot get my family's approval to move to Japan	获取家庭的同意	Sự chấp thuận của gia đình
その他（具体的にご記入ください）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Lý do khác (vui lòng điền cụ thể)
日本で働くことになった場合、両親は許可してくれると思いますか？	If you secured a job in Japan, do you think your parents will permit you to go?	如果你要在日本工作，会得到父母会的允许吗	Bố mẹ sẽ cho phép nếu bạn quyết định làm việc tại Nhật Bản?
許可を得る必要はない	I do not have to get their permission	不需要征得同意	Tôi không cần sự cho phép
既に話をして許可してもらっている	I already have spoken to them and have their permission	已经交流过并征得同意	Tôi đã trao đổi và được sự đồng ý
許可してもらえる可能性が高い	It is likely that they permit me to go to Japan	非常有可能得到允许	Khả năng cao tôi sẽ nhận được sự cho phép
許可してもらえない可能性が高い	It is not likely that they permit me to go to Japan	很可能他们不会允许	Khả năng cao tôi sẽ không nhận được sự cho phép
既に話したことがあり、許可してもらえなかった	I have already spoken to them and they have not given me permission	已经交流过，并未征得同意	Tôi đã trao đổi và không được sự đồng ý
わからない	I do not know	不知道	Tôi không biết
どのような方法で日本で働こうと考えていますか？（複数選択可能）	How do you think you will find a job in Japan (select all that apply)	你打算以何种方式在日本工作？（多选）	Bạn đã nghĩ ra những phương pháp nào để làm việc tại Nhật Bản? (bạn có thể chọn nhiều hơn 1 đáp án)
日本現地の企業に直接連絡する	Directly contacting companies in Japan	直接联系日本的公司	Liên hệ trực tiếp với công ty tại Nhật
母国にある日本企業に連絡する	Contacting Japanese companies in my home country	联系一家在祖国有业务的日本公司	Liên hệ với công ty Nhật tại Việt Nam
Web 求人メディアから募集に応募する	Applying through online job portals	通过招聘网站申请	Đăng ký từ website tuyển dụng

就職エージェントを活用する	Applying through recruitment agents	通过职业介绍所	Đăng ký qua các đại lý và kênh phân phối tuyển dụng
母国で開催される就職イベントに参加する	Attending job fairs in my home country	参加在本国举行的招聘会	Tham gia các sự kiện tuyển dụng tại Việt Nam
日本で開催される就職イベントに参加する	Attending job fairs in Japan	参加在日本举行的招聘会	Tham gia các sự kiện tuyển dụng tại Nhật Bản
調べたことがあるけど、わからない	I've tried researching on this but have no idea yet	做了一些研究，但还是不清楚自己的答案	Tôi đã tìm hiểu nhưng không biết
その他（具体的にご記入ください）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Khác (vui lòng điền cụ thể)
あなたが一回でもしたことがあることを教えてください。	Please select all of the following that you have experience with.	在下列选项中选择你至少做过一次的事	Xin chọn những điều mà bạn đã có kinh nghiệm dưới đây
日本でのインターンシップを探してみたことがある	I have searched for internships in Japan	曾试图在日本找到一份实习工作	Tôi đã thử tìm thực tập tại Nhật Bản
日本でのインターンシップを経験したことがある	I have participated in internships in Japan	曾在日本实习过	Tôi đã trải nghiệm thực tập tại Nhật Bản
日本での仕事を探してみたことがある	I have searched for jobs in Japan	曾试图在日本找到一份工作	Tôi đã thử tìm công việc tại Nhật Bản
日本での仕事に応募したことがある	I have applied for jobs in Japan	已经在日本申请了一份工作	Tôi đã ứng tuyển việc làm tại Nhật Bản
日本での就職について、リクルーターあるいはキャリアアドバイザーなどの専門家に相談したことがある。	I have spoken to recruitment professionals such as career advisors and recruitment agents	曾向招聘人员或职业顾问或其他专业人士咨询在日本找工作的问题	Tôi đã tham khảo ý kiến của nhà tuyển dụng và cố vấn nghề nghiệp về làm việc tại Nhật Bản
日本でのインターンシップを探してみたことがある	I have searched for internships in Japan	曾试图在日本找到一份实习工作	Tôi đã thử tìm thực tập tại Nhật Bản
あなたが日本で働く場合、重要視する要素で当てはまるものを、“すべて”選んでください。	Which of the following are important factors to you when deciding where to work in Japan? Select all.	如果你要在日本工作，请选择所有对你来说很重要的因素	Xin chọn “tất cả” các yếu tố quan trọng khi bạn làm việc tại Nhật Bản
仕事内容	Job scope / content	工作内容	Nội dung công việc

会社のブランド	Company brand	公司品牌	Thương hiệu công ty
事業の成長性	Potential for the business to grow	企业的成长潜力	Tiềm năng phát triển của công ty
労働環境	Working conditions	工作环境	Môi trường làm việc
生活する地域	Region I will live in	居住地区	Khu vực sinh sống
給料	Salary level	薪资	Mức lương
研修の機会	Chances for training / skill upgrading	培训机会	Cơ hội đào tạo nghề
キャリアアップの可能性	Growth potential for my career	职业提升的机会	Khả năng phát triển sự nghiệp
企業の理念	Company values	公司理念	Triết lý doanh nghiệp
社風	Company culture	社风	Văn hóa công ty
会社の規模	Company size	公司的规模	Quy mô doanh nghiệp
その他（具体的にご記入ください）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Yếu tố khác (vui lòng điền cụ thể)
<p>あなたが日本で働く場合、“最も”重要だと思う要素を1つ選んでください。</p>			
	Of the above, choose the *most important* factor for you.	如果你要在日本工作，请选择对你来说最重要的因素中	Xin chọn “một” yếu tố quan trọng nhất khi bạn làm việc tại Nhật Bản
仕事内容	Job scioe / content	工作内容	Nội dung công việc
会社のブランド	Company brand	公司品牌	Thương hiệu công ty
事業の成長性	Potential for the business to grow	企业的成长潜力	Tiềm năng phát triển của công ty
労働環境	Working conditions	工作环境	Môi trường làm việc
生活する地域	Region I will live in	居住地区	Khu vực sinh sống
給料	Salary level	薪资	Mức lương
研修の機会	Chances for training / skill upgrading	培训机会	Cơ hội đào tạo nghề
キャリアアップの可能性	Growth potential for my career	职业提升的机会	Khả năng phát triển sự nghiệp
企業の理念	Company values	公司理念	Triết lý doanh nghiệp
社風	Company culture	社风	Văn hóa công ty
会社の規模	Company size	公司的规模	Quy mô doanh nghiệp
その他（具体的にご記入ください）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Yếu tố khác (vui lòng điền cụ thể)

あなたが希望する企業の業種を“すべて”教えてください。	Please select *all* the industries you would want to be employed in.	请告诉我们你想在哪些行业工作 (多选)	Xin chọn “tất cả” các ngành nghề mà bạn mong muốn ứng tuyển
こだわりは特にない	No preference	我没有特别的偏好	Tôi không có yêu cầu cụ thể
製造業	Manufacturing	制造业	Sản xuất
商社	Trading companies	贸易公司	Thương mại
IT/Web	IT/Web	IT/Web	IT Web/Công nghệ thông tin
金融	Finance	金融	Tài chính
不動産	Real estate	房地产	Bất động sản
観光	Tourism	旅游业	Du lịch
飲食	Food and beverage	饮食业	Ẩm thực
介護	Nursing	护理	Điều dưỡng
教育	Education	教育	Giáo dục
広告	Marketing agencies	广告	Quảng cáo
小売	Retail	零售业	Kinh doanh bán lẻ
人材	Human resources	人力资源部门	Nhân sự
あなたが希望する仕事の職種を“すべて”教えてください。	Please select *all* the job roles you would want to work as.	请告诉我们你想在哪些行业工作 (多选)	Xin chọn “tất cả” các loại công việc mà bạn mong muốn ứng tuyển
翻訳・通訳	Translation / Interpretation	笔译/口译	Thông dịch
海外取引業務	International business	海外贸易	Giao dịch nước ngoài
法人営業	Corporate sales	营业销售	Kinh doanh theo hình thức tập đoàn
情報処理・通信技術	Information technology / Data analysis	信息处理/通信技术	Công nghệ xử lý thông tin / truyền thông
技術開発 (情報処理分野以外)	Engineering (excluding IT)	技术开发 (不包括信息处理)	Phát triển công nghệ (ngoài lĩnh vực xử lý thông tin)
企画事務 (マーケティング・リサーチ)	Market research	企划 (营销和研究)	Lập kế hoạch kinh doanh (tiếp thị / nghiên cứu)
企画事務 (広報・宣伝)	Advertising / PR	企划 (公共关系和广告)	Lập kế hoạch kinh doanh (quan hệ công chúng / quảng cáo)

建築・土木・測量技術	Civil engineering / Architecture	建筑、土木工程和測量技術	Kiến trúc / Xây dựng / Khảo sát địa hình
会計事務	Accounting	会計	Kế toán tài chính
教育	Education	教育	Giáo dục
調査研究	Academic research	調査研究	Khảo sát thị trường
管理業務（経営者を除く）	Administrative roles	行政工作（不包括管理）。	Nghiệp vụ quản lý (không bao gồm quản lý doanh nghiệp)
経営・管理業務	Business management	管理/经营	Quản trị kinh doanh
その他（具体的にご記入く ださい）	Others (Please specify)	其他（请具体说明）	Khác (vui lòng điền cụ thể)
日本以外の海外で働くこ とを検討していますか？	Are you also considering other places to work other than your home country and Japan?	你是否考虑在日本以外的 地方工作？	Ngoài Nhật Bản, bạn có đang cân nhắc làm việc tại các nước khác không?
日本以外の他の国で働くこ とを優先して考えている	Yes, and these other options have priority over Japan	考虑优先在日本以外的其他 国家工作	Có, tôi ưu tiên các nước khác hơn Nhật Bản
検討しているが、日本で働 くことのほうが優先度は高 い	Yes, but Japan is my top priority	在考虑，但在日本工作更加 更优先	Tôi đang cân nhắc, nhưng Nhật Bản vẫn là ưu tiên hàng đầu
検討していない	No, Japan is the only overseas work location I am considering	没有考虑过这个问题	Tôi không cân nhắc về việc này
日本以外で働くことを検 討している国は、どこで すか？	If you answered "yes" to the previous question, where are you considering?	你会考虑在日本以外的哪 个国家工作？	Ngoài Nhật Bản, quốc gia mà bạn đang cân nhắc sẽ làm việc ở đâu?
コロナ感染拡大前と現在 で日本で働くことについ て、考えの変化はありま したか？	How has your attitude towards working in Japan changed when compared to before the COVID-19 pandemic?	经历过新冠大流行后，你 对于在日本工作的想法是 否发生了改变？	Trước và sau sự lây lan của dịch Corona, ý định làm việc tại Nhật Bản của bạn có thay đổi không?

日本で働きたい考えがとても強くなった	My desire to work in Japan has greatly grown	想在日本工作的念头变强烈了	Mong muốn làm việc tại Nhật Bản của tôi đã lớn lên rất nhiều
どちらかというと、日本で働きたい考えが強くなった	My desire to work in Japan has somewhat grown	想在日本工作的念头或多或少变强烈了	Mong muốn làm việc tại Nhật Bản của tôi đã phần nào lớn lên
特に変化なし	No particular change	没有什么变化	Không có thay đổi gì
どちらかというと、日本で働きたい考えが弱くなった	My desire to work in Japan has somewhat weakened	想在日本工作的念头或多或少减弱了	Mong muốn làm việc tại Nhật Bản của tôi đã phần nào giảm đi
日本で働きたい考えがとても弱くなった	My desire to work in Japan has greatly weakened	想在日本工作的念头减弱了	Mong muốn làm việc tại Nhật Bản của tôi đã giảm đi rất nhiều

11. 付録2：日本企業の印象についての回帰分析

「上下関係が厳しい」

回帰統計									
重相関 R	0.2021								
重決定 R2	0.0409								
補正 R2	0.0249								
標準偏差	0.6499								
観測数	306								

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.461	0.089	38.754	<0.001	3.286	3.637	3.286	3.637
インド	0.073	0.122	0.601	0.549	-0.166	0.312	-0.166	0.312
中国	0.163	0.118	1.381	0.168	-0.070	0.396	-0.070	0.396
ベトナム	-0.225	0.150	-1.504	0.134	-0.520	0.070	-0.520	0.070
社会人	0.115	0.090	1.271	0.205	-0.063	0.293	-0.063	0.293
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	-0.130	0.096	-1.349	0.178	-0.319	0.060	-0.319	0.060

「伝統を重視している」

回帰統計									
重相関 R	0.243								
重決定 R2	0.059								
補正 R2	0.044								
標準偏差	0.625								
観測数	306								

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.381	0.086	39.371	<0.001	3.212	3.550	3.212	3.550
インド	0.288	0.117	2.462	0.014	0.058	0.518	0.058	0.518
中国	0.057	0.114	0.499	0.618	-0.167	0.281	-0.167	0.281
ベトナム	-0.114	0.144	-0.789	0.430	-0.397	0.170	-0.397	0.170
社会人	0.093	0.087	1.073	0.284	-0.078	0.264	-0.078	0.264
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	-0.080	0.093	-0.859	0.391	-0.262	0.103	-0.262	0.103

チームワークを重視している

回帰統計									
重相関 R	0.354								
重決定 R2	0.126								
補正 R2	0.111								
標準偏差	0.655								
観測数	306								
	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%	
切片	3.082	0.090	34.238	<0.001	2.905	3.259	2.905	3.259	
インド	0.602	0.123	4.911	<0.001	0.361	0.843	0.361	0.843	
中国	0.334	0.119	2.798	0.005	0.099	0.569	0.099	0.569	
ベトナム	0.039	0.151	0.257	0.797	-0.258	0.336	-0.258	0.336	
社会人	0.038	0.091	0.414	0.679	-0.142	0.217	-0.142	0.217	
日本で6ヶ月以上 の滞在経験あり	0.081	0.097	0.833	0.405	-0.110	0.272	-0.110	0.272	

「労働時間が長い」

回帰統計									
重相関 R	0.354								
重決定 R2	0.126								
補正 R2	0.111								
標準偏差	0.655								
観測数	306								
	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%	
切片	3.082	0.090	34.238	<0.001	2.905	3.259	2.905	3.259	
インド	0.602	0.123	4.911	<0.001	0.361	0.843	0.361	0.843	
中国	0.334	0.119	2.798	0.005	0.099	0.569	0.099	0.569	
ベトナム	0.039	0.151	0.257	0.797	-0.258	0.336	-0.258	0.336	
社会人	0.038	0.091	0.414	0.679	-0.142	0.217	-0.142	0.217	
日本で6ヶ月以上 の滞在経験あり	0.081	0.097	0.833	0.405	-0.110	0.272	-0.110	0.272	

海外事業を積極的に行っている

回帰統計	
重相関 R	0.329
重決定 R2	0.108
補正 R2	0.093
標準偏差	0.665
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.257	0.091	35.649	<0.001	3.077	3.436	3.077	3.436
インド	0.325	0.124	2.614	0.009	0.080	0.570	0.080	0.570
中国	0.013	0.121	0.106	0.915	-0.225	0.251	-0.225	0.251
ベトナム	0.117	0.153	0.766	0.444	-0.184	0.419	-0.184	0.419
社会人	0.081	0.092	0.874	0.383	-0.101	0.263	-0.101	0.263
日本で6ヶ月以上 の滞在経験あり	-0.408	0.098	-4.144	<0.001	-0.602	-0.214	-0.602	-0.214

「教育環境が充実している」

回帰統計	
重相関 R	0.191
重決定 R2	0.037
補正 R2	0.021
標準偏差	0.627
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.294	0.086	38.249	<0.001	3.124	3.463	3.124	3.463
インド	0.065	0.117	0.558	0.577	-0.165	0.296	-0.165	0.296
中国	-0.046	0.114	-0.407	0.684	-0.271	0.178	-0.271	0.178
ベトナム	0.030	0.144	0.205	0.837	-0.255	0.314	-0.255	0.314
社会人	0.206	0.087	2.369	0.018	0.035	0.378	0.035	0.378
日本で6ヶ月以上 の滞在経験あり	-0.123	0.093	-1.330	0.184	-0.306	0.059	-0.306	0.059

成長している企業が多い

回帰統計	
重相関 R	0.431

重決定 R2	0.186
補正 R2	0.172
標準偏差	0.670
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.226	0.092	35.016	<0.001	3.045	3.407	3.045	3.407
インド	0.511	0.125	4.073	<0.001	0.264	0.758	0.264	0.758
中国	-0.213	0.122	-1.747	0.082	-0.454	0.027	-0.454	0.027
ベトナム	0.162	0.155	1.046	0.296	-0.142	0.466	-0.142	0.466
社会人	-0.030	0.093	-0.322	0.748	-0.213	0.153	-0.213	0.153
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	-0.172	0.099	-1.728	0.085	-0.367	0.024	-0.367	0.024

実力より上司や会社への忠誠心の方が重要

回帰統計	
重相関 R	0.106
重決定 R2	0.011
補正 R2	-0.005
標準偏差	0.784
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.162	0.108	29.340	<0.001	2.950	3.374	2.950	3.374
インド	0.165	0.147	1.127	0.261	-0.123	0.454	-0.123	0.454
中国	0.032	0.143	0.223	0.824	-0.249	0.313	-0.249	0.313
ベトナム	-0.052	0.181	-0.290	0.772	-0.408	0.303	-0.408	0.303
社会人	0.011	0.109	0.100	0.920	-0.204	0.225	-0.204	0.225
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	0.039	0.116	0.333	0.739	-0.190	0.267	-0.190	0.267

福利厚生が充実している

回帰統計	
重相関 R	0.168
重決定 R2	0.028

補正 R2	0.012
標準偏差	0.636
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.287	0.087	37.594	<0.001	3.115	3.459	3.115	3.459
インド	-0.133	0.119	-1.116	0.265	-0.367	0.101	-0.367	0.101
中国	-0.033	0.116	-0.281	0.779	-0.261	0.195	-0.261	0.195
ベトナム	-0.023	0.147	-0.157	0.875	-0.312	0.266	-0.312	0.266
社会人	0.217	0.088	2.454	0.015	0.043	0.391	0.043	0.391
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	-0.074	0.094	-0.783	0.434	-0.259	0.112	-0.259	0.112

新しいものを生み出している

回帰統計	
重相関 R	0.465
重決定 R2	0.216
補正 R2	0.203
標準偏差	0.790
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	2.780	0.109	25.600	<0.001	2.566	2.993	2.566	2.993
インド	0.882	0.148	5.964	<0.001	0.591	1.173	0.591	1.173
中国	0.054	0.144	0.374	0.709	-0.229	0.337	-0.229	0.337
ベトナム	0.183	0.182	1.005	0.316	-0.175	0.541	-0.175	0.541
社会人	-0.068	0.110	-0.623	0.534	-0.285	0.148	-0.285	0.148
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	-0.301	0.117	-2.571	0.011	-0.531	-0.071	-0.531	-0.071

仕事終わりに職場の人と食事やお酒を飲むことが多い

回帰統計	
重相関 R	2.922
重決定 R2	0.480
補正 R2	0.217
標準偏差	-0.150

観測数

306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	2.922	0.104	28.068	<0.001	2.717	3.127	2.717	3.127
インド	0.480	0.142	3.390	<0.001	0.202	0.759	0.202	0.759
中国	0.217	0.138	1.573	0.117	-0.054	0.489	-0.054	0.489
ベトナム	-0.150	0.175	-0.858	0.392	-0.493	0.194	-0.493	0.194
社会人	-0.081	0.105	-0.766	0.445	-0.288	0.127	-0.288	0.127
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	0.029	0.112	0.257	0.797	-0.192	0.250	-0.192	0.250

キャリアの発展性はある

回帰統計	
重相関 R	0.324
重決定 R ²	0.105
補正 R ²	0.090
標準偏差	0.664
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.221	0.091	35.290	<0.001	3.041	3.401	3.041	3.401
インド	0.260	0.124	2.089	0.038	0.015	0.504	0.015	0.504
中国	-0.170	0.121	-1.406	0.161	-0.408	0.068	-0.408	0.068
ベトナム	-0.037	0.153	-0.240	0.811	-0.338	0.265	-0.338	0.265
社会人	-0.040	0.092	-0.433	0.665	-0.222	0.142	-0.222	0.142
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	-0.275	0.098	-2.800	0.005	-0.469	-0.082	-0.469	-0.082

平均年収が高い（40歳時点での年収）

回帰統計	
重相関 R	0.118
重決定 R ²	0.014
補正 R ²	-0.003
標準偏差	0.689
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.192	0.095	33.708	<0.001	3.005	3.378	3.005	3.378
インド	-0.033	0.129	-0.256	0.798	-0.287	0.221	-0.287	0.221
中国	0.028	0.125	0.227	0.821	-0.218	0.275	-0.218	0.275
ベトナム	0.016	0.159	0.098	0.922	-0.297	0.328	-0.297	0.328
社会人	-0.010	0.096	-0.104	0.917	-0.198	0.179	-0.198	0.179
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	-0.192	0.102	-1.878	0.061	-0.393	0.009	-0.393	0.009

初任給が高い

回帰統計	
重相関 R	0.162
重決定 R2	0.026
補正 R2	0.010
標準偏差	0.769
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	2.783	0.106	26.330	<0.001	2.575	2.991	2.575	2.991
インド	0.154	0.144	1.072	0.285	-0.129	0.437	-0.129	0.437
中国	0.327	0.140	2.332	0.020	0.051	0.602	0.051	0.602
ベトナム	0.196	0.177	1.104	0.270	-0.153	0.545	-0.153	0.545
社会人	-0.061	0.107	-0.574	0.567	-0.272	0.149	-0.272	0.149
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	-0.182	0.114	-1.600	0.111	-0.407	0.042	-0.407	0.042

柔軟性がある

回帰統計	
重相関 R	0.173
重決定 R2	0.030
補正 R2	0.014
標準偏差	0.871
観測数	306

	係数	標準偏差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	2.531	0.120	21.149	<0.001	2.295	2.766	2.295	2.766

インド	0.082	0.163	0.505	0.614	-0.238	0.403	-0.238	0.403
中国	0.080	0.159	0.505	0.614	-0.232	0.392	-0.232	0.392
ベトナム	0.337	0.201	1.679	0.094	-0.058	0.732	-0.058	0.732
社会人	-0.140	0.121	-1.159	0.247	-0.379	0.098	-0.379	0.098
日本で6ヶ月以上の滞在経験あり	-0.236	0.129	-1.831	0.068	-0.490	0.018	-0.490	0.018
